

昭和館所蔵 学童疎開関係資料(手記・体験談)目録(2)

— 東京以外 —

佐藤綾子

解 説

本目録は、昭和館図書室が所蔵する、戦後に刊行された図書・雑誌に掲載された学童疎開に関する手記・体験談等の目録である。

平成26年度の昭和館特別企画展「空襲とくらし そのとき、人々は…」の参考資料として、昭和館が所蔵する学童集団疎開に関する図書資料(手記・体験談)の目録を作成した。その目録をもとに、縁故疎開、疎開残留、疎開受入側の手記を追加した。

戦後、学校あるいは自治体単位で学童疎開の体験をまとめた図書が刊行されてきたが、それ以外にも、市民の戦争体験をまとめた手記集等に学童疎開について書かれたものが含まれている場合も多い。

当館の検索システムは、書名、著者名、目次情報等からの検索が可能であるが、手記集に含まれていた場合、手記タイトルに学校名が含まれていない限り、学校名で検索しても該当資料にたどりつくことはできない。そこで、学校名から学童疎開関係の手記を探せるよう本目録を作成した。

上記の特別企画展会期中、自分の出身学校・疎開先に関する情報を求めて来室する利用者が多くいた。なかには「集合写真1枚でもいいので載っている資料はないか」という問い合わせもあった。

本目録には疎開当時に書かれた作文や日記、絵画、写真等については含まれていないが、今後、手記同様に目録化し、学童疎開関係のレファレンスツールとして充実させていく必要がある。

これらの資料は当館の検索システムで検索し、閲覧することが可能である。当室の資料番号(9桁)からの検索が最も簡易に該当資料にたどりつけると思われるので、書誌事項の末尾に資料番号を付した。また、検索の便を考え学校名による索引を付した。今号には13の道府県分をまとめて掲載したが、東京都分については『昭和のくらし研究 第13号』に掲載されているので、あわせてご利用いただければ幸いである。

凡 例

I 収録範囲

この目録は、当図書室が平成26年7月31日までに整備した蔵書を対象とした目録である。

II 配 列

各項目のもと、道府県別の学校名の五十音順に配列した。ただし、学校名に「第一」「第二」などの数字を含むものについては数字の小さい順に配列した。

III 記載事項

①書名 ②編著者 ③出版者(編著者と同じ場合は省略) ④出版年 ⑤【資料番号】 ⑥手記タイトル(執筆者・証言者) ⑦疎開学寮(手記タイトルに記載があるものについては省略。縁故疎開の場合は疎開地) ⑧備考 ⑨頁

IV 表 記

表記は基本的に蔵書データによる。

学校名については全国疎開学童連絡協議会編『学童疎開の記録1』の「学童集団疎開先一覧」(大空社、1994年)をもとに表記を統一した。

学校名が()付表記のものは、本文内に学校名の表記がなく、「学童集団疎開先一覧」の学寮名から学校名が推定されたものである。

V そ の 他

学校単位でまとめられた資料については、個別の手記タイトルを省略した。

I 集団疎開

北海道

函館市青柳国民学校

証言日本最後の学童集団疎開 浅利政俊 幻洋社 1994 【060004636】

1. 座談会・知内村湯の里を訪ねて pp.130~143
2. 座談会・ツラツラ川上流の宿舍跡を調査して pp.143~148
3. 疎開地に向かう列車の上空に敵機（内山みちる） pp.154~169
4. 函館空襲と集団疎開の妹（黒滝美栄） pp.173~177
5. 学童集団疎開を体験した児童期をふりかえって（内山みちる） pp.183~188

函館市柏野国民学校

証言日本最後の学童集団疎開 浅利政俊 幻洋社 1994 【060004636】

6. 吉岡国民学校での集団疎開の体験から（服部左公） pp.295~301
7. 函館の空襲と吉岡での疎開体験（藤原真知子） pp.301~303
8. 吉岡国民学校に疎開した生徒の手記 pp.303~304
9. 昭和二十年度の記録、「吉岡国民学校沿革誌」より pp.304~317
10. 柏野国民学校集団疎開引率の思い出（岡野弘） pp.318~322

函館市幸国民学校

証言日本最後の学童集団疎開 浅利政俊 幻洋社 1994 【060004636】

11. 座談会・木古内町泉沢国民学校に疎開して pp.250~271
12. ぼくの泉沢国民学校での集団疎開生活（飯田喜三郎） pp.272~275

函館市新川国民学校

証言日本最後の学童集団疎開 浅利政俊 幻洋社 1994 【060004636】

13. 函館空襲と野田生での疎開体験（渡辺康夫） pp.333~334

函館市高盛国民学校

証言日本最後の学童集団疎開 浅利政俊 幻洋社 1994 【060004636】

14. 知内村善照寺へ疎開して（四ツ柳光子） pp.330~332

函館市中島国民学校

証言日本最後の学童集団疎開 浅利政俊 幻洋社 1994 【060004636】

15. 座談会・疎開先福島町を訪ねて pp.189~211
16. 疎開体験掘り起こし 戦争は二度とご免 pp.212~213
17. 中島国民学校学童集団疎開地をたずねて（船山圭右） pp.217~221
18. 手記 学童集団疎開追憶誌から（桂井剛正） pp.222~238
19. 対談 学童集団疎開生活体験を深めるために（桂井剛正 浅利政俊） pp.239~249

函館市八幡国民学校

証言日本最後の学童集団疎開 浅利政俊 幻洋社 1994 【060004636】

20. 知内村涌元国民学校へ疎開させて（安田勲） pp.276~283
21. 涌元国民学校へ疎開した引率教員の手記（千賀郁子） pp.286~288
22. 涌元国民学校へ学童集団疎開した体験者の証言 pp.288~294

函館市東川国民学校

証言日本最後の学童集団疎開 浅利政俊 幻洋社 1994 【060004636】

23. 松前町法華寺での疎開生活（宇野文子） pp.323~329

岩手県

釜石市立八雲国民学校

忘れまじ：戦争体験記 岩手県退職女教師の会 1985 【000056550】

24. 勝ちぬくために耐えた日々（岡村時子） 教員 pp.163~169

神奈川県

神奈川県女子師範学校附属国民学校

横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいてあった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】

25. 赤道を越えた疎開日記（紺野朝子） pp.452~453
26. トイレで食べたサツマイモ（古川なつ子） 天徳寺 pp.453~454

川崎市旭町国民学校

学童疎開の記録 2:ドキュメンタリー学童疎開 全国疎開学童連絡協議会 大空社 1994		【000019734】
27.	ある学童疎開の記録-米須清博君の霊に捧ぐ-(大山正幸) 引率教員	pp.329~331
輝け杉の子:むらぎものたぎつ思いを 川崎市学童集団疎開記念誌 川崎市学童疎開記念碑建設実行委員会 1985		【000042345】
28.	大山三題(綿引正幸) 教員	pp.78~79
29.	あの時、もう少しで私も(伊東豊子) 二階堂宿舍 教員	p.80
30.	ある学童疎開の記録 米須清博君の霊に捧ぐ(綿引正幸) 教員	pp.100~104
31.	疎開の思い出(吉濱明)	p.81
32.	清博君と生死を分けて(吉濱一昭) 吉川旅館	pp.104~107
川崎空襲・戦災の記録 戦時下の生活記録編 川崎市 1975		【000018602】
33.	米須清博君の爆死(大山正幸) 大藤寮 職員	pp.193~197

川崎市大島国民学校

輝け杉の子:むらぎものたぎつ思いを 川崎市学童集団疎開記念誌 川崎市学童疎開記念碑建設実行委員会 1985		【000042345】
34.	集団疎開の思い出(大内貞子・小内和代・鈴木照子・中山桃代・田島千鶴子) 不動院	pp.20~21
35.	王禅寺の思い出(松下伸)	p.21
36.	王禅寺の思い出(大室恒男)	pp.21~22
37.	王禅寺の思い出(斎敏夫)	pp.22~23
川崎空襲・戦災の記録 戦時下の生活記録編 川崎市 1975		【000018602】
38.	自然を教材として(日比芳次) 王禅寺 教員	pp.264~269
39.	疎開地が変わる(中山貞治) 不動院 教員	pp.270~278
40.	食べ物あさり(匿名) 不動院	pp.256~257
41.	青柿と消化剤(木村伊公子) 常念寺	pp.257~259
42.	王禅寺での七カ月(吉郵勝夫)	pp.259~263

川崎市大戸国民学校

輝け杉の子:むらぎものたぎつ思いを 川崎市学童集団疎開記念誌 川崎市学童疎開記念碑建設実行委員会 1985		【000042345】
43.	恐ろしかったグラマン機銃掃射(小島勤) 教員	p.184
44.	疎開の思い出(外山登) 桂北国民学校	p.185
45.	苦楽を共にした集団疎開の思い出(川畑アイ子) 赤馬公会堂	pp.186~187

川崎市大山国民学校

輝け杉の子:むらぎものたぎつ思いを 川崎市学童集団疎開記念誌 川崎市学童疎開記念碑建設実行委員会 1985		【000042345】
46.	歳月のぬくもりに手をかざしながら(福寿一雄)	pp.196~197

川崎市小田国民学校

輝け杉の子:むらぎものたぎつ思いを 川崎市学童集団疎開記念誌 川崎市学童疎開記念碑建設実行委員会 1985		【000042345】
47.	「空腹・のみ・しらみ」(池野広) 竜安寺	pp.193~194
48.	「疎開」記念文集から(飯島和夫)	pp.32~34
49.	疎開の思い出(池野廣)	pp.34~35

川崎空襲・戦災の記録 戦時下の生活記録編 川崎市 1975		【000018602】
50.	何度も空襲に遭う(飯島和夫) 長念寺 教員	pp.248~252
51.	夢にまで見たキャラメル(岩沢栄子) 長念寺	pp.247~248

川崎市川崎国民学校

輝け杉の子:むらぎものたぎつ思いを 川崎市学童集団疎開記念誌 川崎市学童疎開記念碑建設実行委員会 1985		【000042345】
52.	競風(大内英雄) 教員	p.139
53.	疎開がとりもつ初恋談義(小島勤) 教員	p.140
54.	野天風呂のことなど(井上和賀雄) 山王堂/西海地青年会場 教員	p.141
55.	疎開雑感(古宮寿)	p.142
56.	思い出(中野悦男)	pp.142~143
川崎空襲・戦災の記録 戦時下の生活記録編 川崎市 1975		【000018602】
57.	毎日手紙を書く(河田泰男) 金剛頂寺	pp.220~223

58.	いつも空腹（浅田真治）	金剛頂寺			pp.224～227
59.	しらみの数を報告（木城政之）	金剛頂寺			pp.227～229
60.	農家を手伝う（菅沼悦男）	金剛頂寺			pp.229～231
61.	牛車で米運び（古宮寿）	善福寺			pp.231～240
62.	もらい湯の楽しみ（森野謙二）	善福寺			pp.240～244
63.	妙現寺での日課（秋元佐知子）	妙現寺			pp.244～246

川崎市川中島国民学校

輝け杉の子：むらぎものたぎつ思いを 川崎市学童集団疎開記念誌 川崎市学童疎開記念碑建設実行委員会 1985 【000042345】					
64.	疎開の思い出（木村モト）	耕雲寺	教員		pp.171～173
65.	薪拾いと子ども達（中山安太郎）		疎開学童の親		pp.216～217
66.	息子（石渡茂子）	松屋	疎開学童の親		pp.217～218
67.	疎開を思う（永野聖子）	耕雲寺			p.168
68.	あとから参加（鎌田フサ子）	耕雲寺			p.168
69.	疎開（松本貞子）	大福寺			pp.169～170
70.	疎開とスキップ腹と親の愛（宮沢清）				p.170
71.	卒業・引き揚げ（青山正明）				p.170

川崎空襲・戦災の記録 戦時下の生活記録編 川崎市 1975 【000018602】

72.	縁故疎開から集団疎開へ（根岸千代）		疎開学童の親		pp.214～217
-----	-------------------	--	--------	--	------------

川崎市幸町国民学校

輝け杉の子：むらぎものたぎつ思いを 川崎市学童集団疎開記念誌 川崎市学童疎開記念碑建設実行委員会 1985 【000042345】					
73.	故、野口みち子先生（井上幸雄）				pp.209～210
74.	心のふるさと（栗原輝臣）	保国寺			p.132
75.	さるすべりの木（大橋節子）	法泉寺			p.133
76.	疎開の思い出（大橋一雄）	養国院			p.134
77.	福昌院での疎開生活（千村俊彦）	福昌院			p.135
78.	比々多村疎開の思い出（清水富子）	福昌院			p.136

川崎空襲・戦災の記録 戦時下の生活記録編 川崎市 1975 【000018602】

79.	疎開地を変える（中山貞治）		教員		pp.278～282
80.	後援会長として（小方四郎）				pp.218～220

川崎市桜本国民学校

輝け杉の子：むらぎものたぎつ思いを 川崎市学童集団疎開記念誌 川崎市学童疎開記念碑建設実行委員会 1985 【000042345】					
81.	香林寺の集団疎開（山本忠雄）		教員		pp.189～190
82.	ノーマア・集団疎開（手塚修二）	香林寺			pp.190～191
83.	鍛錬道場の思い出（横田正子）	升形山鍛錬道場			p.192
84.	香林寺の集団疎開（山本忠雄）				p.26
85.	四十年の昔（和田紀子）	香林寺			p.26
86.	面会日（石井栄子）	香林寺			pp.26～27
87.	別れ（梅村キヨ）				p.27
88.	忍（岸本晴夫）				p.27
89.	梨（高柳寿子）				p.28
90.	出発の思い出ともらい湯（手塚修平）				pp.28～29
91.	学童疎開の思い出（徳永武雄）	香林寺			p.29

川崎市新町国民学校

輝け杉の子：むらぎものたぎつ思いを 川崎市学童集団疎開記念誌 川崎市学童疎開記念碑建設実行委員会 1985 【000042345】					
92.	忘れ得ぬこと（稲持民子）		教員		pp.147～148
93.	豊田村での生活（本条陽子）	青雲寺			pp.148～149
94.	疎開の思い出（山口絹江）	大智寺			pp.149～150

川崎市住吉国民学校

昭和館所蔵 学童疎開関係資料(手記・体験談)目録(2)

輝け杉の子：むらぎものたぎつ思いを 川崎市学童集団疎開記念誌 川崎市学童疎開記念碑建設実行委員会 1985 【000042345】			
95.	無医村だった大山でのけが(杉崎千代)	教員	p.195
96.	大山に感謝を(金子忠雄)		p.50
97.	集団疎開に想う(古尾谷栄)		pp.51~52
98.	集団疎開(小島益江)		p.52
99.	「白い、おかゆ」(鈴木みつ子)		p.53
川崎空襲・戦災の記録 戦時下の生活記録編 川崎市 1975 【000018602】			
100.	堪える(小島寅雄) 相原寮	職員	pp.197~204
101.	家に戻された子供(坪井玉江) 宮本寮	疎开学童の親	pp.204~205
川崎市大師国民学校			
輝け杉の子：むらぎものたぎつ思いを 川崎市学童集団疎開記念誌 川崎市学童疎開記念碑建設実行委員会 1985 【000042345】			
102.	忘れ得ぬ思い出(岸田疆) 村山寮	教員	p.198
103.	心に刻まれた数々(米山美代子)		p.56
104.	(松本富江)		p.57
105.	(須山孝)		p.57
106.	(青山まさ子)		p.57
107.	(米山級有志)		pp.57~58
108.	(須山偵治)		p.58
109.	(小泉喜一) 内海政雄寮		pp.58~59
川崎空襲・戦災の記録 戦時下の生活記録編 川崎市 1975 【000018602】			
110.	思いがけぬ知らせ(梶川秀子) 内海寮	縁故→集団	pp.168~172
111.	面会が途絶えたとき(寺尾つね)	疎开学童の親	pp.172~174
川崎市高津国民学校			
輝け杉の子：むらぎものたぎつ思いを 川崎市学童集団疎開記念誌 川崎市学童疎開記念碑建設実行委員会 1985 【000042345】			
112.	疎開断想(五島正典) 石雲寺	教員	p.161
113.	薪拾い(河原実) 石雲寺		pp.210~214
114.	石雲寺での生活を共にして(千田ヒロ子) 石雲寺		pp.215~216
115.	親子(内山博和) 浄発願寺		p.162
116.	○(渡辺清子)		p.163
川崎市田島国民学校			
輝け杉の子：むらぎものたぎつ思いを 川崎市学童集団疎開記念誌 川崎市学童疎開記念碑建設実行委員会 1985 【000042345】			
117.	学童疎開に献身した陰の人びと(杉山智男)	教員	pp.206~209
118.	おしるこの味(木村功) 真芳寺		p.128
119.	三十九年前の回想(小宮忠行) 真芳寺		pp.128~129
川崎市玉川国民学校			
輝け杉の子：むらぎものたぎつ思いを 川崎市学童集団疎開記念誌 川崎市学童疎開記念碑建設実行委員会 1985 【000042345】			
120.	感謝は海を越えて(妙摩光代)		pp.201~202
121.	思い出(野口多門) 三村寮		p.72
122.	白昼の大脱走(原藤次) 大谷寮		p.73
123.	待ち遠しい面会日(伊藤朝光)		p.74
124.	疎開解散四十周年を迎えて(原信義)		p.75
川崎空襲・戦災の記録 戦時下の生活記録編 川崎市 1975 【000018602】			
125.	訓導兼寮母として(宮崎和子) 三村寮	職員	pp.188~193
川崎市中原国民学校			
輝け杉の子：むらぎものたぎつ思いを 川崎市学童集団疎開記念誌 川崎市学童疎開記念碑建設実行委員会 1985 【000042345】			
126.	疎開当日の宿舎までの様子(姉川キクチヨ) 吉野校		p.176~177
127.	宿舎について(松本照) 正念寺		p.177
128.	疎開地の施設について(五十嵐麗子) 小淵校		p.177

129.	疎開中の日課（遠藤清子）	沢井校		p.177
130.	食糧の配給（寺辺志津子）	名倉校		p.178
131.	生活の状況（森見子）	日蓮校		p.178
132.	食事（横山清子）	浄禅寺		p.178
133.	疎開地での敵機襲来（小泉フサ子）			pp.178～179
134.	佐野川村の皆様への感謝（青木宗次）	和田公会堂		p.179
135.	疎開地浄禅寺での生活（横山裕）	浄禅寺		p.180
136.	うまかった大豆の味（野村義治）	浄禅寺		p.181
137.	疎開の思い出（酒泉和夫）			p.182
		私の戦後50年第1集：わが子に伝える	東京新聞 東京新聞出版局	1995 【000020851】
138.	うまかった大豆（野村義治）			pp.39～40
		川崎空襲・戦災の記録 戦時下の生活記録編	川崎市	1975 【000018602】
139.	二十年五月の疎開（姉川キクチヨ）	吉野国民学校	教員	pp.282～285
		川崎市日吉国民学校		
		輝け杉の子：むらぎものたぎつ思いを	川崎市学童集団疎開記念誌 川崎市学童疎開記念碑建設実行委員会	1985 【000042345】
140.	疎開児童の思い出（佐々木トシ子）	牧野国民学校	寮母	p.125
141.	イチョウと私（篠木和弘）	吉祥院		p.121
142.	終戦をむかえて四十年（岸美智子）			p.122
143.	もらい湯（海老沢静雄）			p.123
144.	思い出（庄司敏子）	少林寺 牧野国民学校		p.124
		川崎市平間国民学校		
		輝け杉の子：むらぎものたぎつ思いを	川崎市学童集団疎開記念誌 川崎市学童疎開記念碑建設実行委員会	1985 【000042345】
145.	集団疎開の思い出（小島宗時）			pp.95～96
146.	集団疎開の思い出（小宮三郎）	篠崎寮		pp.96～98
		川崎市富士見国民学校		
		輝け杉の子：むらぎものたぎつ思いを	川崎市学童集団疎開記念誌 川崎市学童疎開記念碑建設実行委員会	1985 【000042345】
147.	この歌よ父母にとどけ（酒井恵子）	阿夫利神社	教員	p.84
148.	疎開の思い出（甲田二三恵）	眞理谷寮→青木寮		pp.203～204
149.	白いパン（在間聡夫）			pp.204～206
150.	遠い月夜の道（池上素子）			p.85
151.	誤診（松本初恵）			p.86
		川崎空襲・戦災の記録 戦時下の生活記録編	川崎市	1975 【000018602】
152.	菊の御紋入り菓子（北沢登美子）	佐藤寮		pp.179～183
		川崎市前沼国民学校		
		学童疎開の記録 2：ドキュメンタリー学童疎開	全国疎開学童連絡協議会 大空社	1994 【000019734】
153.	布団の中で一人食べたかきもち（伊藤志津子）	東光寺		pp.209～210
		輝け杉の子：むらぎものたぎつ思いを	川崎市学童集団疎開記念誌 川崎市学童疎開記念碑建設実行委員会	1985 【000042345】
154.	四十年前をふりかえって（原田幸子）	寿経寺	教員	p.156
155.	思い出しても（藤川秀子）	寮母		p.155
156.	当時は六年生（前田満喜子）	東光寺		p.156
157.	思い出（伊藤志津子）	東光寺		pp.157～158
		川崎市南河原国民学校		
		輝け杉の子：むらぎものたぎつ思いを	川崎市学童集団疎開記念誌 川崎市学童疎開記念碑建設実行委員会	1985 【000042345】
158.	疎開の思い出（栗原重一）	教員		p.115
159.	集団疎開の思い出（中川昇）	教員		p.116
160.	回想（佐藤安彦）	長生寺	教員	p.117
161.	グラマン来襲（大内昌雄）	疎開分団長		p.114
162.	母と弟たちの死（寺山晴男）			pp.219～220

163.	大田村への集団疎開(徳植忠造)		p.117
164.	ワアッ! おばけだあ(高橋理夫)		p.118
川崎空襲・戦災の記録 戦時下の生活記録編 川崎市 1975 【000018602】			
165.	四月十五日の赴任(大内昌雄) 蓮華寺 教員		pp.210~214
166.	寂しさをこらえて(佐藤シズ子) 三福寺		pp.208~210
川崎市宮前国民学校			
輝け杉の子:むらぎものたぎつ思いを 川崎市学童集団疎開記念誌 川崎市学童疎開記念碑建設実行委員会 1985 【000042345】			
167.	疎開 あねいもうと(田中英子)		pp.199~200
168.	歳月(田村政子)		pp.200~201
169.	疎開の思い出 出発(小山利男)		p.67
170.	疎開の思い出 出発(禿宗男)		p.67
171.	疎開の思い出 宿舎(小山利男)		p.67
172.	疎開の思い出 食事(金田かね子)		p.67
173.	疎開の思い出 食事(浅田文子)		p.67
174.	疎開の思い出 歌声(浅田文子)		p.67
175.	疎開の思い出 面会(浅田文子)		pp.67~68
176.	疎開の思い出 肥汲み(浅田文子)		p.68
177.	疎開の思い出 シラミ(金田かね子)		p.68
178.	疎開の思い出 しもやけ(禿宗男)		p.68
179.	疎開の思い出 脱走(禿宗男)		p.68
180.	疎開の思い出 B29(金田かね子)		pp.68~69
181.	疎開の思い出 機銃掃射の洗礼(伊藤吉郎)		p.69
182.	疎開の思い出 玉音放送(伊藤吉郎)		p.69
183.	疎開の思い出 ブロンズ像に托す(小山利男)		p.69
川崎空襲・戦災の記録 戦時下の生活記録編 川崎市 1975 【000018602】			
184.	空元気を出して(関口豊子) 内海寮		pp.174~179
川崎市御幸国民学校			
輝け杉の子:むらぎものたぎつ思いを 川崎市学童集団疎開記念誌 川崎市学童疎開記念碑建設実行委員会 1985 【000042345】			
185.	学童集団疎開に思う(秋山実) 教員		p.62
186.	学童集団疎開の思い出(田中阿佐子) 教員		pp.62~63
187.	父、兄からの便り(石井文子)		p.62
188.	宿舎を逃げ出したこと(石井義孝)		p.63
189.	集団疎開の生活(福田朗)		pp.63~64
190.	あれから四十年(金子房江)		p.64
川崎空襲・戦災の記録 戦時下の生活記録編 川崎市 1975 【000018602】			
191.	息子たちの手紙(並木ふじ)		pp.206~207
川崎市向国民学校			
輝け杉の子:むらぎものたぎつ思いを 川崎市学童集団疎開記念誌 川崎市学童疎開記念碑建設実行委員会 1985 【000042345】			
192.	ザルづくり(射越孝良) 教員		pp.89~90
193.	長かった半年(岡庭英昭)		pp.90~92
川崎空襲・戦災の記録 戦時下の生活記録編 川崎市 1975 【000018602】			
194.	不幸な出来事(浅見桂子) 佐藤寮		pp.183~185
195.	ざると野菜の交換(平井慶蔵) 浅田寮		pp.186~188
川崎市渡田国民学校			
輝け杉の子:むらぎものたぎつ思いを 川崎市学童集団疎開記念誌 川崎市学童疎開記念碑建設実行委員会 1985 【000042345】			
196.	明鏡寺(平川福江)		p.38
197.	円融寺(根元きみ子)		pp.38~39
198.	蓮華寺(石森はつ)		p.39

199.	東泉寺（清水秋枝）			pp.39～40
200.	等覚院（神木不動）（高須歌子・田辺和子）			p.40
201.	妙楽寺（吉原きみ子）			pp.40～41
202.	長安寺 蓮華寺から長安寺へ（鷺尾正一）			pp.41～42
精華初等学校				
	横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会			1996 【000050685】
203.	鴨の宮から飯田へ（後藤千寿子） 成田青年会館		→縁故疎開（長野県）	pp.462～463
204.	「うなぎの寝床」が疎開先（内田貴美子） 成田青年会館			pp.460～461
205.	国民学校と名乗れなかった母校（梅田誠） 成田青年会館			pp.461～462
成美学園初等科				
	横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会			1996 【000050685】
206.	祖父が校長だった学校で（中尾眞弓） 好楽荘			pp.464～465
207.	一本の音叉で音楽の授業（藤元薫子） 好楽荘			pp.465～466
横須賀市池上国民学校				
	横須賀の学童疎開：体験記集 横須賀市教育研究所			2007 【000051903】
208.	遠き淵から一御所見村での少年の記憶一（瀧口實） 寿昌寺			pp.92～102
横須賀市浦賀国民学校				
	横須賀の学童疎開：体験記集 横須賀市教育研究所			2007 【000051903】
209.	梅雲寺での生活（角井定男） 梅雲寺			pp.252～257
210.	掛け替えのない財産（鈴木喜久枝） 信隆寺			pp.257～259
211.	疎開の想い出（鴻野志津子） 長福寺			pp.259～261
横須賀市浦郷国民学校				
	横須賀の学童疎開：体験記集 横須賀市教育研究所			2007 【000051903】
212.	勝利の日まで（鬼島三男） 宗珪寺 海源寺			pp.102～106
横須賀市大津国民学校				
	横須賀の学童疎開：体験記集 横須賀市教育研究所			2007 【000051903】
213.	（座談会）廣徳寺の思い出（間部孝一他） 廣徳寺			pp.127～138
214.	勤労と勉強と一三年生での体験一（安藤淑子） 廣徳寺			pp.139～140
215.	衣食足りず礼節を知る（高橋栄次郎） 大信寺			pp.140～143
横須賀市追浜国民学校				
	横須賀の学童疎開：体験記集 横須賀市教育研究所			2007 【000051903】
216.	里できいたは何の声（永島チカ） 蓮妙寺		疎開学童の母	p.208
横須賀市衣笠国民学校				
	横須賀の学童疎開：体験記集 横須賀市教育研究所			2007 【000051903】
217.	集団疎開の思い出（土屋稔） 戒善寺			pp.192～194
218.	集団疎開を顧みて（坂田美千代） 知恩寺			pp.194～195
219.	戒善寺にて（長沢正巳） 戒善寺			pp.196～197
220.	笥の水（嘉山豊作） 松石寺			pp.197～199
横須賀市久里浜国民学校				
	横須賀の学童疎開：体験記集 横須賀市教育研究所			2007 【000051903】
221.	人のなさけ 第二のふるさと三田（石渡正） 清源院		教員	pp.217～221
222.	人にやさしく 少女時代の感性を（山本和枝） 洗心道場		西福寺	pp.208～211
223.	集団疎開への思い（長島栄一） 清源院			pp.212～214
224.	涙が出なくなった（田丸守） 清源院		妻田村公会堂	pp.214～216
横須賀市高坂国民学校				
	横須賀の学童疎開：体験記集 横須賀市教育研究所			2007 【000051903】
225.	厳しさも優しさも（藤田重代）		教員	pp.223～224
横須賀市坂本国民学校				

昭和館所蔵 学童疎開関係資料(手記・体験談)目録(2)

	横須賀の学童疎開：体験記集	横須賀市教育研究所	2007	【000051903】
226.	寮母として(松本久子) 梅宗寺 寮母			pp.63~64
227.	長徳寺の子供達(堀込秀男) 長徳寺			pp.58~63
横須賀市沢山国民学校				
	横須賀の学童疎開：体験記集	横須賀市教育研究所	2007	【000051903】
228.	今でも忘れぬ泣き声(多々良武雄) 妙純寺 疎開児童の兄			pp.125~127
横須賀市汐入国民学校				
	横須賀の学童疎開：体験記集	横須賀市教育研究所	2007	【000051903】
229.	学童疎開・思い出の円教寺(佐々木成) 円教寺			pp.280~283
	孫たちへの証言 第8集：50年前のあのことこのこと	福山琢磨 新風書房	1995	【000020816】
230.	辛かったが精一杯頑張った学童集団疎開(清水勇) 宗仲寺			pp.92~95
横須賀市諏訪国民学校				
	横須賀の学童疎開：体験記集	横須賀市教育研究所	2007	【000051903】
231.	一寮長の記録(最上満) 早川青年倶楽部			pp.48~53
232.	戦後五十年集団疎開の思い出(山縣ちさと) 済運寺			pp.54~55
横須賀市田浦国民学校				
233.	南光寺 ある学童疎開の記録：八歳の目で見たもう一つの戦争	荒木力 エミール社	1994	【000056049】
	横須賀の学童疎開：体験記集	横須賀市教育研究所	2007	【000051903】
234.	学童疎開思い出の記(石川新吉) 南光寺 教員			pp.266~269
235.	寮母として一疎開に思う一(大石みどり) 宝光寺 寮母			pp.264~265
236.	いつも誰かと一緒に寂しくなかった私の学童疎開一(池田美子) 宝光寺			pp.261~264
横須賀市田戸国民学校				
	横須賀の学童疎開：体験記集	横須賀市教育研究所	2007	【000051903】
237.	愛川町勝楽寺での生活一疎開の思い出の記一(石渡良太郎) 勝楽寺 教員			pp.236~243
238.	大きな銀杏の木(今井緑) 勝楽寺			pp.227~228
239.	何らかの指針を一疎開派世代の体験から一(山崎和彦) 細野集会所			pp.229~231
240.	四十七年目の追憶一子供心に映った疎開先一(斎藤八郎) 宮本社務所			pp.231~233
241.	学童疎開記(岩本康男) 清雲寺			pp.233~235
横須賀市鶴久保国民学校				
	越えて来た道：戦中戦後の体験を語りつづ	横須賀高女十九年入学有志の会	1996	【000051329】
242.	学童集団疎開の日記より(蓬田とも子) 無量光寺			pp.134~143
	横須賀の学童疎開：体験記集	横須賀市教育研究所	2007	【000051903】
243.	学童疎開の思い出(水島邦子) 無量光寺			pp.107~109
244.	集団疎開・心に浮かぶままに(溪口宏) 瑞光寺			pp.109~112
245.	境川のほとりで 大戦下の少年と教師(齊藤博) 龍像寺			pp.112~116
横須賀市豊島国民学校				
	横須賀の学童疎開：体験記集	横須賀市教育研究所	2007	【000051903】
246.	汽車の線路と煙と(佐野和子) 浄久寺			pp.244~251
横須賀市長浦国民学校				
	横須賀の学童疎開：体験記集	横須賀市教育研究所	2007	【000051903】
247.	長浦校の学童疎開(志村繁子) 常泉寺 教員			pp.187~188
248.	平和のありがたさを一学童集団疎開の思い出一(八住剛光) 信法寺			pp.188~192
横須賀市船越国民学校				
	横須賀の学童疎開：体験記集	横須賀市教育研究所	2007	【000051903】
249.	集団疎開の子どもたちと(鈴木直吉) 大巖寺 教員			pp.83~91
250.	お母さんと別れて(抄)(伊藤幸枝) 本盛寺			pp.64~81
251.	「学童疎開を考える会」に出席して(窪田初枝) 宝積寺			pp.81~82
252.	豊かな自然、青い空、白い雲(伊藤実) 浄雲寺			p.83

横須賀市山崎国民学校

	横須賀の学童疎開：体験記集 横須賀市教育研究所 2007	【000051903】
253.	今も保存している当時の日記から（石井みね子） 弘徳寺	pp.148～150
254.	銃撃の恐怖 語りつく義務（嘉山三千男） 中屋旅館	pp.150～152
	学童疎開の記録 2：ドキュメンタリー学童疎開 全国疎開学童連絡協議会 大空社 1994	【000019734】
255.	集団疎開（三留輝雄） 本照寺 引率教員	pp.332～334

横浜市青木国民学校

	横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996	【000050685】
256.	分団長として参加（島津為三） 教員	pp.255～256
257.	米の買い出し（堤敏栄） 教員	pp.256～257
258.	月光に輝いた緋もうせんのねまき（八木幸枝） 亀屋	pp.257～258
259.	眠れなかった疎開前夜（元木恒雄）	p.258
260.	海軍の傷病兵との交流（大江立夫）	p.260

横浜市芦穂崎国民学校

	ボクと原爆：波瀾一丈 出版者・出版地・出版年不明	【000048657】
261.	集団→縁故	pp.11～17
	横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996	【000050685】
262.	異常な体験を教訓に（時田幸吉）	pp.199～200
263.	人生の大切な一部分（後藤晴子）	pp.200～201

横浜市石川国民学校

	横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996	【000050685】
264.	サツマイモの汁粉（比企野勇） 初音館	pp.309～310

横浜市磯子国民学校

	横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996	【000050685】
265.	平和願って三十一文字（村山リン子）	pp.436～437
266.	いじめ、脱走、誤解（春日智子）	p.437
267.	田舎にも空襲が…（堤賢一郎） 縁故→残留→再疎開	pp.437～438
	学童集団疎開の記録 秦野市 1994	【000056556】
268.	学童疎開について（吉川雅智） 光西寺 教員	pp.181～186
269.	疎開学童の座談会	pp.174～175
270.	疎開児童との座談会	pp.177～178
271.	集団疎開の回想（橋本克之良） 極楽寺	pp.186～188
272.	四五年前の思い出（佐藤貞子）	p.189
273.	集団疎開の思い出（石井康子） 極楽寺	pp.189～190
274.	極楽寺のイタズラの思い出（間瀬実夫） 極楽寺	pp.190～191
275.	集団疎開のこと（長崎等） 自興院	pp.201～202
276.	集団疎開（樋口好子） 龍法寺	pp.213～216
277.	学童集団疎開とのかかわり（笹川広司） 龍法寺	pp.216～217
278.	光西寺での集団疎開の思い出（勝野久子） 光西寺	p.218
279.	天徳寺組（寺田尚子） 天徳寺	p.219
280.	私の記憶（古谷嘉朗） 天徳寺	p.219

横浜市市場国民学校

	横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996	【000050685】
281.	寂しい事の連続（小川守）	p.205

横浜市一本松国民学校

	横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996	【000050685】
282.	弟・創のこと（依田康子） 楽山荘 家族	pp.391～392
283.	引率教師として（小沢静枝） 成多屋 教員	pp.394～395

284.	ミカンの皮の思い出(高山香織)		p.391
285.	いじめ(青木平衛) 楽山荘		p.393
286.	一番のお姉さん役(三角愛子) 末広旅館		p.394
287.	よく歩きよく走る(坂井修一) 楽山荘		pp.396~397
横浜市井戸ヶ谷国民学校			
	横浜市の学童疎開:それは子どもたちのたたかいであった	横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会	1996 【000050685】
288.	うれしかった母の面会(大給牧子) 富士見楼		pp.423~424
横浜市稲荷台国民学校			
	横浜市の学童疎開:それは子どもたちのたたかいであった	横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会	1996 【000050685】
289.	伝えねばならない私の体験(中村芳江)		pp.400~401
横浜市岩崎国民学校			
	横浜市の学童疎開:それは子どもたちのたたかいであった	横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会	1996 【000050685】
290.	断片的な思い出(末崎謙次)		pp.140~141
横浜市浦島国民学校			
		一粒の米 津村恒夫	1999 【000037416】
291.	縁故→集団		pp.140~141
	横浜市の学童疎開:それは子どもたちのたたかいであった	横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会	1996 【000050685】
292.	苦労したお風呂(土橋玉枝)		pp.180~181
293.	思い出の地を訪ねて(上沢美和子)		pp.181~182
294.	山村での生活そして空襲(小倉美智子) 葦根薬師堂		p.182
295.	不便に耐えた本堂での生活(浅野晃) 光明寺		pp.182~183
296.	カボチャの料理はしない(高野政子)		pp.183~184
横浜市老松国民学校			
	横浜市の学童疎開:それは子どもたちのたたかいであった	横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会	1996 【000050685】
297.	紫色のスタンプ(金子紀子)		pp.278~279
298.	阪神大震災 震災と疎開(金久保久三) 弥栄館		pp.279~280
299.	初の温泉療法(村垣良夫) 弥栄館		p.281
300.	空腹の労働(奥田愠由) 弥栄館		pp.284~285
301.	消えた栄養剤(小山禮子)		pp.286~287
302.	一包みの白砂糖(野上希伊子)		pp.287~288
303.	疎開の「におい」(小林志づ子) 弥栄館		p.288
304.	薪運びの夢(玉上純枝)		p.289
305.	軍国少年(苅部正)		pp.289~291
横浜市大岡国民学校			
	横浜市の学童疎開:それは子どもたちのたたかいであった	横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会	1996 【000050685】
306.	一生分食べた鯖(河村敏孝)		pp.367~368
307.	先生方に感謝(内山照男) 玉宝寺		pp.368~369
308.	戦争が残した心の傷跡(藤本逸子)		p.372
横浜市太田国民学校			
		黄色い小さな箱の贈り物 園田すみ子 文芸社	2006 【000051678】
309.	神山ホテル		pp.33~94
	横浜市の学童疎開:それは子どもたちのたたかいであった	横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会	1996 【000050685】
310.	夜尿症の子を一か所に(徳増和子) 神山ホテル 教員		p.380
311.	母ちゃんが死んだ(大庭承功) 芙蓉亭		pp.378~379
312.	一家八人、四か所に離散(永田中子) 神山温泉ホテル		p.382
313.	姉と一緒に(渡辺淑子) 芙蓉亭		p.384
314.	シラミの釜ゆで(池田讓二) 神山ホテル		pp.385~386
315.	出発の日の泣き電車(柴崎候代) 神山ホテル		p.386

316.	両親を亡くし兄も戦死（大島澄子）		pp.386～387
横浜市大島国民学校			
	横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった	横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会	1996 【000050685】
317.	後世の人に味わせたくない（生川洋三）		pp.335～336
318.	箱根駅伝のたびに思い出す（小槻正幸）	三河屋旅館	p.336
横浜市岡野国民学校			
	横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった	横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会	1996 【000050685】
319.	湯河原と箱根（竹内敏子）	教員	pp.247～248
320.	万一のときの覚悟（原田侑示）	恵旅館	pp.248～249
321.	忘れられない二つの思い出（小柴テツ子）		pp.249～250
322.	お寺でお経を習う（坂本確）	末好屋	p.250
横浜市帷子国民学校			
	横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった	横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会	1996 【000050685】
323.	記憶を呼び起こして（高橋惣一）		pp.150～151
横浜市神奈川国民学校			
	横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった	横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会	1996 【000050685】
324.	湖底に沈んだ疎開地（中馬忠也）	川崎別荘	pp.177～178
横浜市金沢国民学校			
	横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった	横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会	1996 【000050685】
325.	残さねば風化し忘れられる（斎藤治子）		pp.444～445
		学童集団疎開の記録 秦野市	1994 【000056556】
326.	集団疎開の思い出	※教員、寮母、学童の談話	pp.233～259
327.	集団疎開に子供を出した母親の座談会		pp.259～261
横浜市神橋国民学校			
	横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった	横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会	1996 【000050685】
328.	次の世を守る御宝たち（並河實）	座談会をまとめたもの	pp.170～173
横浜市岸谷国民学校			
	横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった	横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会	1996 【000050685】
329.	たらいで山ほどの洗濯（吉田正枝）	教員	p.195
330.	長兄と最後の別れ（滝口康雄）		pp.193～194
横浜市北方国民学校			
	横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった	横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会	1996 【000050685】
331.	後世に語り継ぎたい（保科スミ子）	吉浜館	pp.325～326
332.	強羅の想い出（服部ふみ子）		p.326
333.	最年少の集団疎開（中里依子）		p.327
横浜市共進国民学校			
	横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった	横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会	1996 【000050685】
334.	食糧運搬が日課（大河原義三）	教員	p.362
横浜市栗田谷国民学校			
		ドキュメント太平洋戦争 2：〈一億一心〉かけ声のもとに 野見山暁治 汐文社	1975 【000051794】
335.	学童疎開 稗史としての一体験（山村直樹）		pp.135～171
	横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった	横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会	1996 【000050685】
336.	年若い寮長の思い出（金子利雄）	成就院 教員	pp.234～235
337.	種徳寺の思い出（細貝清）		pp.232～233
338.	やさしかった寮母さん（鳥羽貞子）		pp.233～234
339.	学童疎開という戦争体験（吉屋保子）	成就院	p.235
340.	歌や踊りで淋しさをまぎらわす（秋山美代）		pp.235～236
341.	「野バラ」の思い出（安藤伸）	成就院	pp.236～237

342.	ひもじさとシラミ(石倉米治)	成就院		pp.237~238
343.	待ち遠しかった親の面会(川田敦子)	成就院		pp.239~240
横浜市幸ヶ谷国民学校				
横浜市の学童疎開:それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】				
344.	湖底の友林寺(吉野起見)	友林寺		p.186
横浜紅蘭高等女学校附属初等科				
横浜市の学童疎開:それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】				
345.	二つの疎開のはざまで(森洋子)	了義寺	縁故(横浜市)→集団	pp.455~456
346.	苦しい日々 黄疽になって寝ついた私(本間セイ子)	了義寺	縁故(鎌倉市)→集団	pp.457~458
別冊一億人の昭和史:学童疎開 国民学校から青空教室まで 毎日新聞社 1977 【160000515】				
347.	横浜紅蘭疎開学園(中山博子)	了義寺		pp.292~297
横浜市寿国民学校				
横浜市の学童疎開:それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】				
348.	嬉しかった大空襲のあとの面会(萩野俱子)	玉泉荘		pp.298~299
349.	薪採り山行の再現(鈴木知明)			p.299
350.	私よりもっとひどい疎開もあった(早川澄子)			pp.299~300
351.	とり上げられた恩賜のキャラメル(井関芙美代)			pp.300~301
横浜市子安国民学校				
横浜市の学童疎開:それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】				
352.	当時の日記をひもとくと…(坂本満)	正覚寺	教員	pp.158~159
353.	追憶の記(後藤巖)	正覚寺		pp.159~160
354.	星を見ては泣く(清宮敏子)	正覚寺		p.160
355.	待ち望んだ家族の面会日(松島恵司)	正覚寺		pp.160~161
学童疎開の記録 2:ドキュメンタリー学童疎開 全国疎開学童連絡協議会 大空社 1994 【000019734】				
356.	飢えと恐怖と脱走の日々(奈良実)	浄流寺		pp.201~203
横浜市斉藤分国民学校				
横浜市の学童疎開:それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】				
357.	煩惱即菩提(福島敏夫)	教員		p.165
358.	数々の思い出(矢部恵美子)	三會寺	教員	p.166
359.	少年期の回想(竹内稔)			pp.164~165
360.	ひたすら耐え(篠田房枝)	本法寺		pp.166~168
361.	あの日の想い(松嶋寿子)			p.168
362.	私の苦しく辛い時代(望月純子)	三會寺		p.169
363.	わたくしの追憶(草笛光子)	三會寺	→縁故疎開(群馬県)	pp.527~528
横浜市桜岡国民学校				
横浜市の学童疎開:それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】				
364.	整腸薬を菓子代わりに(山崎幸造)	宝珠院		pp.419~420
365.	再疎開の真相は?(小林福三郎)			p.420
366.	お墓の団子を食べた(佐藤昌章)	宝珠院		pp.420~421
367.	戦中と戦後を切り離れた白紙の時代(佐藤圭一)			pp.421~422
学童疎開の記録 2:ドキュメンタリー学童疎開 全国疎開学童連絡協議会 大空社 1994 【000019734】				
368.	集団疎開の頃(小林福三郎)	村立宮城野国民学校		pp.203~209
横浜市下野谷国民学校				
横浜市の学童疎開:それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】				
369.	三つの思い出(金子保雄)	最乗寺	教員	pp.202~203
370.	こわかった夜の便所(佐枝英司)	最乗寺		p.204
横浜市白幡国民学校				
横浜市の学童疎開:それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】				

371.	今となっては貴重な体験（後田勇次）	瑞雲寺		pp.162～163
横浜市末吉国民学校				
横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】				
372.	原爆で亡くなった友も（吉田道江）	東光院		pp.225～226
373.	般若心経を覚える（中村知）			p.226
横浜市杉田国民学校				
横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】				
374.	奇妙な思い出（間島次男）	松屋旅館		pp.439～440
学童集団疎開の記録 秦野市 1994 【000056556】				
375.	大塚喜作氏と集団疎開（大塚喜作）			pp.297～298
376.	集団疎開（土浦基良）	桂柱寺		p.320
横浜市大道国民学校				
横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】				
377.	学童疎開を回顧して（杉山高蔵）	教員		pp.470～471
378.	羅針盤のない船（相川光正）	赤田青年会館		p.471
横浜市滝頭国民学校				
横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】				
379.	新任先生の体験（飯沼光子）	大川旅館	教員	pp.450～451
380.	十余年も戦争の後遺症（福永延江）	命徳寺		pp.449～450
381.	帰宅すると一面焼野原（小高達男）	大川旅館		p.450
学童集団疎開の記録 秦野市 1994 【000056556】				
382.	大川旅館での集団疎開（飯沼光子）	教員		pp.171～172
383.	集団疎開の思い出に寄せて（小高達男）	大川旅館		pp.172～173
横浜市立野国民学校				
横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】				
384.	手紙作戦で食べ物ねだる（今村鎮夫）	常盤旅館		pp.330～331
385.	ようかん切り分け分数を理解（吉村義）	木賀の里		pp.331～332
386.	調査→報告会→検挙（岩永東男）			p.333
387.	地球の平和を祈ります（岩崎重子）	木賀の里		pp.333～334
横浜市戸塚国民学校				
横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】				
388.	楽しかった面会日（金子功）	本興寺	※複数の人への聞き書き	pp.152～153
389.	寮母として（有馬ツル子）	寮母		pp.153～154
横浜市戸部国民学校				
横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】				
390.	当時の同僚教員すでに亡く…（馬上加策）	橋本旅館	教員	pp.417～418
391.	父のこと（小沼恭子）			pp.410～411
392.	先生のいじめ（鈴木孝子）	駒ヶ岳ホテル		pp.411～412
393.	シラミ、食事、映画（松本千恵子）	橋本旅館		p.412
394.	四か所を転々（鈴木武）	橋本旅館		pp.416～417
横浜市富岡国民学校				
横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】				
395.	よく噛んでゆっくり食べた（吉川政章）	大乘院		pp.441～442
396.	一時帰宅で空襲に遭う（野本喜一郎）			p.442
397.	破傷風で母と再会（佐伯隆義）			p.443
横浜市豊岡国民学校				
横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】				
398.	哀しいカボチャ（長島幸二）	岡本国民学校		pp.196～197

399.	乾燥イモを盗み食い(灰谷英子)	岡本国民学校		p.198
横浜市生麦国民学校				
	横浜市の学童疎開:それは子どもたちのたたかいであった			横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】
400.	足に大けが、早朝の切符買い(清水満)	大泉寺		pp.191~192
横浜市西潮田国民学校				
	横浜市の学童疎開:それは子どもたちのたたかいであった			横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】
401.	楽しいことばかり(森千恵子)	清水村役場		pp.214~215
402.	いろりを囲んで食事(柿崎容子)			p.215
403.	親がなく面会もなく(宮津卓弥)	大蔵野		p.215
404.	酒匂川で泳ぎを覚える(押田孝)	数田家		p.216
405.	川に落ちて夢中で泳ぐ(外丸勝政)	滝本家		pp.216~217
406.	辛かった集団生活(関口昌弘)			pp.217~218
	思慕と飢餓のはざままで:平和への願いをこめて5学童疎開編 創価学会婦人平和委員会 第三文明社 1982 【060004635】			
407.	見知らぬ農家に預けられて(松崎千香子)	尾崎家	原本は「潮田国民学校」	pp.149~158
横浜市西戸部国民学校				
	横浜市の学童疎開:それは子どもたちのたたかいであった			横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】
408.	空腹との戦い(高田量介)	箱根ホテル		pp.425~426
409.	辛かったせんたく(大石玉枝)	箱根ホテル		pp.426~427
横浜市西前国民学校				
	横浜市の学童疎開:それは子どもたちのたたかいであった			横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】
410.	疎開の母の想い(佐野千鶴子)	教員		p.406
411.	怖かったあの日のこと(加藤秀夫)			p.402
412.	泣き虫の子を抱いて(宮崎喜作)	都旅館		p.403
413.	見附けの松、お話し(町田良子)			pp.403~404
414.	権現山のサル(鳥井ヒデ子)			p.405
415.	床の中で一人泣く(大島好恵)	小松屋		pp.405~406
416.	疎開は心の教育だった(野本洋)	都旅館		pp.407~408
417.	一年間に四回の疎開=漂流(福原弘子)			pp.408~409
横浜市根岸国民学校				
	横浜市の学童疎開:それは子どもたちのたたかいであった			横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】
418.	わが蚤・虱考(鬼頭智哉)	教員		p.433
419.	浄円寺、太岳院でのこと(島田富恵)	浄円寺、太岳院		pp.428~429
420.	こわかった肝だめし(石川紋三郎)	寿徳寺		p.429
421.	夢の中で大福食べた(萩原晟生)	寿徳寺		pp.430~431
422.	父の死で帰る(小山三郎)	寿徳寺		pp.431~432
	学童集団疎開の記録 秦野市 1994 【000056556】			
423.	終戦前後 集団疎開生活(鬼頭智哉)	教員		pp.235~236
424.	昭和20年すきっ腹の学童疎開(宇都宮襄治)	教員		p.236
425.	学童集団疎開の思い出(石川紋三郎)	寿徳寺		pp.239~240
426.	学童集団疎開の思い出(キャラメル)	(栗原恵美)	三協会館	pp.240~241
427.	私の故郷秦野(今村恵都子)	三協会館		pp.241~243
428.	浄円寺と私(山田八重子)			pp.243~245
429.	浄円寺の疎開の思い出(石川栄子)			pp.245~245
横浜市浜国民学校				
	横浜市の学童疎開:それは子どもたちのたたかいであった			横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】
430.	学芸会・映画鑑賞…(前田英孝)	宝泉院		pp.446~447
	学童集団疎開の記録 秦野市 1994 【000056556】			
431.	子供の疎開に母として(荒木隆子)	疎開学童の親		p.273

432.	疎開児童の座談会		pp.267~269
433.	疎開児童による座談会		pp.269~270
434.	集団疎開の思い出(岡田全弘) 宝泉院		pp.270~271
435.	あの時(岩堀洋三) 宝泉院		pp.271~272
436.	学童集団疎開の思い出(梅原かつ子) 菩提公会堂		pp.292~294
437.	集団疎開に想う(勝明子) 菩提公会堂		pp.294~295
438.	集団疎開を思い出して(加藤馨子) 菩提公会堂		pp.295~296
横浜市浜町国民学校			
横浜市の学童疎開:それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】			
439.	子供たちと一緒に疎開して(川端孝蔵) 後援会長		p.211
440.	当時の日記から(萩原忠一) 善福寺 寮長		pp.212~213
441.	十分に食べられず(服部嘉克) 善福寺		pp.206~207
442.	同窓会に出るのが辛い(盛岡徳子) 上怒田公会堂		pp.207~208
443.	メジロに教わったミカンの選び方(野口正則) 善福寺		pp.208~209
444.	村の相撲大会で優勝(津嘉山勇) 下怒田公会堂		pp.209~210
445.	凍ったお弁当(玉城和子) 上怒田公会堂		p.210
446.	毎日が肝だめし(有田幸江) 善福寺		pp.211~212
横浜市日枝国民学校			
横浜市の学童疎開:それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】			
447.	盲腸炎の手術・大雪(柴田ヨシ子) 教員		pp.352~353
448.	母、兄弟焼死、父は出征(鈴木一女) 教員		p.353
449.	家族と涙の別れ(森房枝) 紀乃国屋別館 教員		p.354
450.	淋しい、食べ物、寒い(志村光雄) 紀乃国屋		pp.354~355
451.	ドイツ兵との交流(加藤和子) 紀乃国屋別館		pp.355~356
452.	かまどの灰の中のイモ(富岡郁子)		pp.356~357
453.	思い出の人(吉田哲子)		p.357
454.	日本とドイツのラッパ合戦(武石昇)		pp.358~359
横浜市東潮田国民学校			
横浜市の学童疎開:それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】			
455.	円蔵院の思い出(横溝秀明)		pp.219~220
横浜市東台国民学校			
横浜市の学童疎開:それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】			
456.	思い出の“曾我村” 瑞雲寺		pp.227~228
457.	梅の里の思い出(柳田良子) 瑞雲寺		pp.228~229
横浜市日吉台国民学校			
横浜市の学童疎開:それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】			
458.	毎日曜日には一時帰宅(高津ヤイ子) 真福寺		pp.155~156
459.	意地悪な子もいて(斉藤道子) 興禅寺		pp.156~157
460.	すぐ近くに高射砲陣地が(水戸美智子) 真福寺		p.157
横浜市平沼国民学校			
横浜市の学童疎開:それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】			
461.	一枚の古ばけた写真(成田清子)		pp.241~242
462.	ミカンを盗んでたべた(斎藤武彦) 集会所		pp.242~243
463.	楽しみだった面会日(伊藤静子) 久成寺		pp.243~244
464.	農家のご馳走(村上美代子) 源長寺		pp.244~245
横浜市二谷国民学校			
横浜市の学童疎開:それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】			
465.	先生まで泣きだす(弘中晃子)		pp.187~188

横浜市平安国民学校

横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】			
466.	家が焼け途中で引揚げ(大塚勝久)		pp.221~222
467.	疎開地を回ってみて……(反町照美) 浄蓮院		pp.222~223
焦げたはし箱：語り伝えよう戦時下の小田原 戦時下の小田原地方を記録する会 夢工房 1992 【000051740】			
468.	学童疎開の引率教員として 酒田村(現開成町)(高田稔) 浄蓮院 引率教員		pp.186~191

横浜市平楽国民学校

横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】			
469.	夏がくれば思い出す(鈴木福恵)		pp.312~313
470.	わけも分からずピンタ(田沼菊江) 強羅観光旅館		p.313

横浜市保土ヶ谷国民学校

横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】			
471.	昔と今の「疎開」のちがい(山添孝子) 町内会館		pp.146~147
472.	農作業の手伝い(加志村敏男) 徳翁寺 集団→縁故		pp.147~148
473.	麦畑の向こうから(鎌田三重子) 公民館		pp.148~149

横浜市本町国民学校

横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】			
474.	教師の立場からの疎開(廣田啓子) 教員		pp.276~277
475.	湯坂山の薪とり(鈴木勝三郎) 万寿福旅館		pp.271~272
476.	湯本から矢倉沢へ(小林茂子) 古川旅館		p.275

横浜市本牧国民学校

横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】			
477.	父より娘達へのプレゼント(森孝夫) 健民寮		pp.339~340

横浜市蒔田国民学校

横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】			
478.	盗み食いで往復ピンタ(内野康久) 仙郷楼		pp.364~365

横浜市間門国民学校

横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】			
479.	今でもはっきりと(長山総一郎) 教員		pp.347~349
480.	戦いに勝つための忍苦の日々(真壁虎次) 教員		p.349
481.	戦争を通じての三つの体験(伊藤正幸)		pp.342~343
482.	戦災で両親と兄を失う(山田次子)		pp.346~347
483.	横浜に帰って死んだ上級生(伊波新之助)		pp.349~351
八月の友だち 大石規子 2007 【000054398】			
484.	残留→集団(奈良屋)		pp.60~113

横浜市三ツ沢国民学校

横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】			
485.	墓地の近くにトイレ(小関良江) 教員		p.174
486.	シラミのすもう(綾部善宗) 教員		pp.174~175
487.	何人かは脱走(斎藤清雄) 教員		p.175
488.	立派だった子どもたち(高沼米子) 教員		p.175
489.	友だちと一緒の生活(小野順子)		p.175
490.	今だにはっきりと(釜倉近衛) 東泉寺		p.176

横浜市南太田国民学校

横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】			
491.	胸が痛む子供の犠牲(山口綾子) ニコニコ学園 教員		p.375
492.	友達とのいがみ合い(粕川禮司) ニコニコ学園		pp.374~375
493.	兎追いし……(齋康夫) 俵石寮		pp.375~376

494.	黄ばんだ一冊の日誌（若山清）	ニコニコ学園	p.376
横浜市南吉田国民学校			
495.	眠れなかった五月二九日の夜（宮本しげ）	万平旅館	p.302
横浜市峯国民学校			
横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】			
496.	父の防空壕掘り（竹内幸）		p.144
横浜市宮谷国民学校			
横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】			
497.	お菓子は夢のまた夢（峯村秀代）	大黒屋	p.252
498.	飢えと戦う子供達（小松茂生）		p.252
499.	母さんに会いたいよう！（設楽和子）		pp.253～254
横浜市三吉国民学校			
横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】			
500.	十九歳の教師の思い出（佐藤正雄）	教員	pp.306～307
501.	一枚のモノクロ写真（伊藤初代）	恵比寿旅館	pp.303～304
502.	蛋白質…へびの串刺し（田中文代）	旧大蔵別荘女子寮	pp.304～305
503.	疎開時の情報伝達員（黒岩一巳）	糸びす旅館	pp.305～306
504.	一夜漬けの市長への答辞（佐藤雅之）		pp.307～308
505.	塔の沢にて（土屋隆子）	大蔵別荘	p.308
横浜市六浦国民学校			
横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】			
506.	厳しい母の目に涙（松岡昌子）		pp.468～469
横浜市元街国民学校			
横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】			
507.	洗濯での失敗（妹尾恵子）	仙石屋	pp.320～321
508.	閑節リュウマチの友（宮崎満里子）	梅屋	pp.321～322
509.	箱根底倉の少年時代（神里公）		pp.322～323
横浜市矢向国民学校			
横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】			
510.	つらく暗い思い出ばかり（加藤勝久）	善栄寺	pp.230～231
焦げたはし箱：語り伝えよう戦時下の小田原 戦時下の小田原地方を記録する会 夢工房 1992 【000051740】			
511.	寂しさに耐えて 桜井国民学校（小田原・栢山）	（日景洋子）	pp.181～186
横浜市山元国民学校			
横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】			
512.	いとしい子供達（今井孝次）	原公会堂 教員	p.315
513.	笑顔を忘れていた時（古川祥子）		pp.314～315
514.	五右衛門風呂にびっくり（石塚弘子）		pp.315～316
515.	仲間と集団脱走（島津三郎）		pp.316～317
横浜市横浜国民学校			
横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】			
516.	慣れない自転車の買い出し（関戸小一）	福住旅館 教員	pp.263～264
517.	蝉しぐれの中の登山電車（徳永雅哉）		pp.262～263
518.	忘りたい、しかし忘れ難いこと（加藤住枝）		pp.264～265
519.	胸突八丁を登る（岩元秀剛）	福住旅館	pp.265～266
520.	色鮮やかな疎開の瞬間（大類幸恵）		pp.266～267
521.	都会の子頑張る（為井志げ子）		pp.267～268
522.	終戦前後の我が学校は（鈴木康夫）	福住旅館	pp.269～270
横浜市吉田国民学校			

昭和館所蔵 学童疎開関係資料(手記・体験談) 目録(2)

横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】			
523.	大声で歌った箱根の山は天下の険(黒滝美代子) 大和屋ホテル		pp.292~293
524.	世話になった友人、世話できなかった弟(山田達治)		p.293
525.	早川の谷底から見上げた空は細長かった(佐野義光) 大和館		pp.293~294
526.	しらみ、しもやけ、脱走(佐野揚子)		pp.295~296
527.	脱走したかった箱根(梅田俊子)		p.296
528.	誰が責任をとるのか(永田誠司)		pp.296~297
横浜市立聾話学校			
横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】			
529.	時世におされながらも(福田サト子) 青年錬成所		pp.472~473
埼玉県			
北埼玉郡須影国民学校			
8月15日の子どもたち あの日を記録する会 晶文社 1987 【000020236】			
530.	非常呼集(小林奎介) 福島県岩代熱海		p.279
愛知県			
名古屋市古新国民学校			
子どもたちよ!：語りつぐ東海の戦争体験 中日新聞社会部 風媒社 2007 【000049716】			
531.	腹が減ると薬も食べた(寺院) 集団→縁故(三重県内→愛知県一宮市)		pp.68~70
名古屋市下飯田国民学校			
532.	太平洋戦争と下飯田国民学校の学童疎開 谷口幸 風媒社 2014 【060005058】		
草の根の語りべたち：終戦五十周年記念戦争体験文集 愛知県 1996 【000038269】			
533.	戦災孤児の悲しみ(中島静夫) 妙興寺		pp.300~301
名古屋市白壁国民学校			
焼け跡に立つ虹：戦争体験の記録 愛知県教員組合 1984 【000055455】			
534.	学童疎開(水野弘) 慶昌院		pp.197~204
名古屋市新道国民学校			
思慕と飢餓のはざままで：平和への願いをこめて5 学童疎開編 創価学会婦人平和委員会 第三文明社 1982 【060004635】			
535.	「勤労日誌」は訴える(小川和美) 専念寺		pp.134~141
名古屋市高辻国民学校			
8月15日の子どもたち あの日を記録する会 晶文社 1987 【000020236】			
536.	しらみ(羽佐田種子)		pp.267~268
学童疎開の記録：戦争を知らない世代へ30(東京編) 創価学会青年部反戦出版委員会 第三文明社 1977 【000023625】			
537.	面会に誰一人こなかった日(大木ハツエ)		pp.131~135
名古屋市露橋学校			
草の根の語りべたち：終戦五十周年記念戦争体験文集 愛知県 1996 【000038269】			
538.	美濃町における集団疎開生活に思う(長谷川輝) 教員		pp.302~303
名古屋市道徳国民学校			
8月15日の子どもたち あの日を記録する会 晶文社 1987 【000020236】			
539.	寺(加藤澄子) 極楽寺→善導寺		p.268
名古屋市白水国民学校			
540.	大智院 教員	学童疎開を語る 林政之 1979 【000056558】	
不忘山：学童疎開40周年記念文集 不忘会 1984 【000040955】			
541.	少年Aの八月十五日(林政之) 大智院 教員		pp.113~114
名古屋市御園国民学校			
542.	教員	激動の庭：集団疎開の記録 上原猛 浜島書店 1968 【000045544】	
京都府			
京都市桂国民学校			
543.		この子らと共に：学童集団疎開の記録 太田正二 1976 【060004634】	

京都師範学校女子部附属国民学校

学童疎開：語り伝える京都の戦争 1 久津間保治 かもがわ出版 1996 【000031908】
544. 京都師範女子部附属校の学童疎開 ※複数のインタビュー pp.98～130

京都市第二錦林国民学校

学童疎開：語り伝える京都の戦争 1 久津間保治 かもがわ出版 1996 【000031908】
545. 第二錦林校の学童疎開 ※複数のインタビュー pp.177～201

京都市第四錦林国民学校

学童疎開：語り伝える京都の戦争 1 久津間保治 かもがわ出版 1996 【000031908】
546. 第四錦林校の学童疎開 ※複数のインタビュー pp.202～227

京都市七条第一国民学校

学童疎開：語り伝える京都の戦争 1 久津間保治 かもがわ出版 1996 【000031908】
547. 七条第一校の学童疎開 ※複数のインタビュー pp.131～149

(京都市植柳国民学校)

われら国民学校生：戦火の下の子どもたち 長谷川憲司 神戸：長征社 2001 【000042674】
548. 疎開先の豆ご飯(植田千恵)(京都市) pp.152～153

京都市新洞国民学校

学童疎開：語り伝える京都の戦争 1 久津間保治 かもがわ出版 1996 【000031908】
549. 新洞校の学童疎開 ※複数のインタビュー pp.150～176

京都市朱雀第二国民学校

学童疎開：語り伝える京都の戦争 1 久津間保治 かもがわ出版 1996 【000031908】
550. 朱雀第二校の学童疎開 ※複数のインタビュー pp.51～72

京都市生祥国民学校

学童疎開：語り伝える京都の戦争 1 久津間保治 かもがわ出版 1996 【000031908】
551. (新実和正) pp.228～230

京都市龍池国民学校

学童疎開：語り伝える京都の戦争 1 久津間保治 かもがわ出版 1996 【000031908】
552. (松原正和) pp.230～232

思慕と飢餓のはざままで：平和への願いをこめて5 学童疎開編 創価学会婦人平和委員会 第三文明社 1982 【060004635】
553. 二十九児の母親となって(深田ふく) 妙泉寺寮 教員 pp.189～196

京都市仁和国民学校

学童疎開：語り伝える京都の戦争 1 久津間保治 かもがわ出版 1996 【000031908】
554. (林宏子) 文殊寺 pp.232～234

京都市明倫国民学校

学童疎開：語り伝える京都の戦争 1 久津間保治 かもがわ出版 1996 【000031908】
555. 明倫校の学童疎開 ※複数のインタビュー pp.73～97

大阪府

大阪市吾妻国民学校

学童疎開の記録 2：ドキュメンタリー学童疎開 全国疎開学童連絡協議会 大空社 1994 【000019734】
556. 白いからけし(立木喜代乃) 守山女子工芸校 pp.215～218

大阪の学童疎開 赤塚康雄 クリエイティブ21 1996 【060001527】
557. 「白いからけし」とその後(中畑喜代乃) 守山女子工芸校 pp.792～799

大阪市集英国国民学校

母と館パンと学童疎開 青木民男 編集工房ノア 2011 【000057295】
558. 念法寺 pp.42～60

大阪市育和国民学校

8月15日の子どもたち あの日を記録する会 晶文社 1987 【000020236】
559. 体罰(北村順一) p.271

あの日の子どもたち：1945・8・15 藤本浩之輔 藤本佳子 1996 【000034328】

560.	大阪 大空襲で中止になった卒業式(村田叔子) 叡福寺	pp.34~39
	大阪市石田国民学校	
	草の根の語りべたち:終戦五十周年記念戦争体験文集 愛知県 1996	【000038269】
561.	集団学童疎開(直長敏秋)	pp.298~299
	大阪市大江国民学校	
	私たちと戦争 2:戦争体験文集 戦争体験を記録する会 タイムス 1977	【000052073】
562.	疎開哀歌(池田春子) 淡海高女寄宿舎	pp.179~183
	大阪市加賀屋国民学校	
	私たちと戦争 2:戦争体験文集 戦争体験を記録する会 タイムス 1977	【000052073】
563.	学童疎開の子ら(福島美智子) 教員	pp.177~179
	大阪市菅南国民学校	
	記憶の湖 第二巻:滋賀県民戦争体験談集シリーズ 滋賀県 1998	【060000422】
564.	梅津の生活(由上龍男) 教員	pp.221~234
565.	明大寮のこと(狩野艶子、井花伊織) 明大寮 寮母/合宿所管理者	pp.235~245
	大阪市北鶴橋国民学校	
	思慕と飢餓のはざままで:平和への願いをこめて5 学童疎開編 創価学会婦人平和委員会 第三文明社 1982	【060004635】
566.	"おかいの子"は強かった(館脇かをる) 光専寺寮	pp.32~43
	大阪市北野国民学校	
	学童疎開の記録 2:ドキュメンタリー学童疎開 全国疎開学童連絡協議会 大空社 1994	【000019734】
567.	凍る夜の声(西尾一)	pp.219~220
	大阪市錦郷国民学校	
	記憶の湖 第二巻:滋賀県民戦争体験談集シリーズ 滋賀県 1998	【060000422】
568.	早く家に帰りたいかった(西沢里子)	pp.195~206
	大阪市桑津国民学校	
	あの日の子どもたち:1945・8・15 藤本浩之輔 藤本佳子 1996	【000034328】
569.	大阪・島根 集団学童疎開の八月十五日(田村悦一)	pp.45~51
	大阪市弘治国民学校	
	新世紀に語り継ぐ戦争 第3集:三世代がいま語るわたしの戦争 新世紀に戦争を語り継ぐ会 2009	000052179
570.	学童集団疎開の体験記(松川博行) 正法寺	pp.102~105
	孫たちへの証言 第8集:50年前のあのことこのこと 福山琢磨 新風書房 1995	【000020816】
571.	学童疎開と母の思い出(松川博行) 正法寺	pp.101~104
	大阪市高津国民学校	
	孫たちへの証言 第26集:あの時代の記憶を記録にとどめよう 福山琢磨 新風書房 2013	【060004681】
572.	父病死、学童疎開、空襲一と我が家も戦争に巻き込まれる(吉田房彦) 山月楼	pp.86~90
	別冊一億人の昭和史:学童疎開 国民学校から青空教室まで 毎日新聞社 1977	【160000515】
573.	何不自由なかった生活(松田欽吾) 石畑会館 教員	p.238
574.	花札あそびの思い出(花岡正夫) 石畑会館	p.238
	大阪市塩草国民学校	
	別冊一億人の昭和史:学童疎開 国民学校から青空教室まで 毎日新聞社 1977	【160000515】
575.	母恋しさに意気消沈(清見忠平)	p.237
	大阪市思斉国民学校	
	学童疎開の記録 2:ドキュメンタリー学童疎開 全国疎開学童連絡協議会 大空社 1994	【000019734】
576.	学童疎開と思斉国民学校「光明寮」の教育(海野晴男) 浄福寺	pp.334~340
	大阪市城東国民学校	
	別冊一億人の昭和史:学童疎開 国民学校から青空教室まで 毎日新聞社 1977	【160000515】
577.	生徒たちにスキーを教える(久門嘉雄) 教員	p.236
578.	そっとたばさせてくれた友達の父兄(橋本健次) 夕照庵	p.236
	大阪市精華国民学校	

			記憶の湖 第二巻：滋賀県民戦争体験談集シリーズ 滋賀県	1998	【060000422】
579.	お寺での生活（田尻敏雄）	慈眼寺 教員			pp.187～194
			別冊一億人の昭和史：学童疎開 国民学校から青空教室まで	毎日新聞社	1977 【160000515】
580.	朝昼晩とマツタケばかり（田中操）	教員			p.235
581.	村の子供とケンカの明け暮れ（今井清三）				p.235
大阪市聖賢国民学校					
			福井空襲史 福井空襲史刊行会	1978	【000018662】
582.	『里にうつりて』梗概（竹神稲二郎）	引接寺 教員			pp.600～604
583.	疎開学童の付添教師として（古川礼子）	長慶寺 教員			pp.606～610
584.	福井空襲と再疎開の思い出（木村ツヤ子）	聖護寺 平乗寺 寮母			pp.610～614
大阪市大成国民学校					
			孫たちへの証言 第20集：世界平和への遺言 福山琢磨 新風書房	2007	【000050105】
585.	学童集団疎開で体調崩し奇跡的に助かる（東崎行雄）	慶田寺			pp.62～65
大阪市大宝国民学校					
			記憶の湖 第二巻：滋賀県民戦争体験談集シリーズ 滋賀県	1998	【060000422】
586.	西甲良での疎開生活（秋元一三）	西甲良国民学校			pp.247～256
大阪市高倉国民学校					
			8月15日の子どもたち あの日を記録する会 晶文社	1987	【000020236】
587.	塩田作業（石田明弘）	聖徳寺 宮竹寮			pp.278～279
大阪市千船国民学校					
			斐川と学童集団疎開：二十一世紀に伝えたい貴重な証言 星野美枝 斐川町	2001	【060004671】
588.	父母からの便り（西田一郎）	吉成寺			pp.146～149
大阪市傳法国民学校					
			己れ無き日々：戦争を知らないあなたに 岡山県退職婦人教職員連絡協議会 福田忠義	1982	【000053374】
589.	集団疎開（板野美智子）	公会堂 教員			pp.77～80
大阪市堂島国民学校					
			戦争と教師たち：教え子を再び戦場に送らないために 宮城県教職員組合 [仙台]：宮城県教職員組合	1986	【000040570】
590.	私と戦争—集団疎開の前後（大林碧子）				pp.133～140
大阪市中大江国民学校					
			記憶の湖 第二巻：滋賀県民戦争体験談集シリーズ 滋賀県	1998	【060000422】
591.	ノミやシラミと寒さに悩まされた日々（長尾幾）	竜田寮（淡海高等女学校の寄宿舎）	教員		pp.149～158
592.	いつもお腹がすいていた（池田喬子）	竜田寮（淡海高等女学校の寄宿舎）			pp.135～148
			平和祈念文集：終戦五十周年記念 滋賀県	1995	【000036025】
593.	学童 集団疎開（池田喬子）（志賀町、六十一歳）	淡海高女寄宿舎竜田寮			pp.4～8
大阪市中津国民学校					
			あの日の子どもたち：1945・8・15 藤本浩之輔 藤本佳子	1996	【000034328】
594.	大阪 防空壕の中で唱えた般若心経（岩脇和俊）	円覚寺			pp.28～33
大阪市中道国民学校					
			飢えと怯えに耐えた日々：戦時下の疎開地・奈良の記録 創価学会青年部反戦出版委員会 第三文明社	1984	【000033223】
595.	一粒のお米に愛と憎しみが（村井キクエ）	森戸旅館 疎開学童の親			pp.160～165
大阪市西船場国民学校					
			斐川と学童集団疎開：二十一世紀に伝えたい貴重な証言 星野美枝 斐川町	2001	【060004671】
596.	思い出の簸川平野（二宮重徳）	東光寺 教員			pp.153～156
597.	出雲簸川路への学童集団疎開（中野栄）	覚専寺 教員			pp.171～175
598.	七十五歳の心に残ること（矢野千恵）	西光寺 教員			pp.195～197
599.	学童疎開（二宮まつ子）	東光寺 教員の妻			pp.157～159
600.	面会（南方民子）	疎開学童の母			pp.186～188
601.	月光寺での五カ月間（大島國宏）	月光寺			pp.150～153

602.	疎開の思い出(愛原初子) 東光寺	pp.160~161
603.	集団疎開当時の思い出(鹿田為久子) 東光寺	pp.161~163
604.	心のふるさと(中玉子) 東光寺	pp.163~165
605.	我が心のふるさと久木村(山田秀子) 東光寺	pp.165~171
606.	物の大切さを教えられた集団疎開(足達晃) 覚専寺	pp.176~177
607.	疎開の思い出(塚本多禰子) 覚専寺	pp.178~179
608.	学童疎開が縁となって(橋添彰男) 覚専寺/東光寺	pp.180~183
609.	出雲に移り住んで 四季はめぐり戦いはすんだ(南方希弐) 覚専寺/東光寺	pp.183~186
610.	集団疎開を思い出して(矢尾和子) 覚専寺	pp.188~189
611.	集団疎開と私(曾根亮一) 万歳寺	pp.190~191
612.	集団疎開あれこれ(山城吉太郎) 万歳寺	pp.191~195
613.	我が集団疎開の懐古録(阿曾沼宏) 西光寺	pp.198~199
614.	西光寺での思い出(兼次清子) 西光寺	pp.200~202
615.	家族と離れて(西田務子) 西光寺	pp.202~204
616.	集団疎開 斐川と私(三谷明) 西光寺	pp.205~208
617.	国破れて山河あり(池田慶子) 喜見寺	pp.209~211
618.	疎開の思い出(池田康子) 喜見寺	pp.211~213
619.	集団疎開の思い出(太田節) 喜見寺	pp.213~217
620.	出東村保寿寺の思い出(梅本城治) 保寿寺	pp.217~220
621.	防風林とねこ車(櫻井謙次) 保寿寺	pp.220~223
622.	疎開児童の寮母として(金山浅子) 東光寺	pp.257~259
大阪市東粉浜国民学校		
私たちと戦争 3 戦争体験を記録する会 タイムス 1978 【000052074】		
623.	疎開学童日記(外山禎彦)	pp.98~103
大阪市福島国民学校		
8月15日の子どもたち あの日を記録する会 晶文社 1987 【000020236】		
624.	栄養失調(北山栄次) 法雲寺	pp.266~267
大阪市古市国民学校		
ぼくもわたしも梅の花:語りつぐ戦争体験;1 日本児童文学者協会 草土文化 1979 【000052283】		
625.	大豆ふたつと本一冊(岡由岐子) 大恩寺	pp.95~104
大阪市堀江国民学校		
斐川と学童集団疎開:二十一世紀に伝えたい貴重な証言 星野美枝 斐川町 2001 【060004671】		
626.	疎開の思い出(田村滋郎) 観音寺/宗玄寺 教員	pp.46~53
627.	直江・興林寺での学童疎開について(坂口美重子) 興林寺 教員	pp.103~106
628.	幼き日の集団疎開の思い出(長友淳子) 観音寺	pp.53~55
629.	ハイハイヘトイ(三島元太郎) 観音寺/宗玄寺	pp.56~59
630.	第二の故郷荘原(井坂清子) 宗玄寺	pp.59~63
631.	宗玄寺での思い出(板野美智子) 宗玄寺	pp.63~66
632.	淋しくて悲しい思い出(久保田良子) 宗玄寺	pp.66~68
633.	集団疎開の思い出(富永定子) 宗玄寺	pp.68~71
634.	宗玄寺での生活(三木登美子) 宗玄寺	pp.71~72
635.	霧の彼方の思い出(井上章) 永徳寺	pp.73~75
636.	融和(葛井順三) 永徳寺	pp.76~77
637.	学童疎開の回想(加藤佳之) 永徳寺	pp.77~80
638.	疎開生活と村の方々の厚意(澤木茂) 永徳寺	pp.80~83
639.	学童集団疎開の思い出 戦禍に追われて(中村三津夫) 永徳寺	pp.83~86
640.	わが生涯のかけがえなき六カ月(石井節子) 西念寺	pp.86~89
641.	集団疎開の思い出(大久保千代子) 西念寺	pp.89~92

642.	疎開（長浜末子） 西念寺	pp.92～96
643.	集団疎開の思い出（吉田美子） 西念寺	pp.96～97
644.	疎開の思い出（桐本健也） 吉成寺	pp.98～99
645.	集団疎開の思い出（瀬戸寛治） 吉成寺	pp.100～102
646.	集団疎開（色葉次郎） 興林寺	pp.106～107
647.	疎開って何ですか？（沖昌子） 興林寺	pp.108～110
648.	なつかしの直江村・興林寺（小笹武二） 興林寺	pp.110～113
649.	集団疎開の思い出（岸田公子） 興林寺	pp.113～116
650.	疎開の思い出（武田康子） 興林寺	pp.116～119
651.	集団疎開の思い出（長谷川光子） 興林寺	pp.119～120
652.	二度とふたたび（松下和子） 興林寺	pp.121～122
653.	雪の夜の別れ（山田英雄） 興林寺	pp.123～126
654.	集団疎開の思い出（音在秀信） 吉祥寺	pp.126～128
655.	幻の日々（山本賢二） 吉祥寺	pp.128～130
656.	学童疎開の思い出（荒木睦子） 富田寺	pp.130～133
657.	富田寺疎開記（大西三也） 富田寺	pp.133～135
658.	故郷（小川澄子） 富田寺	pp.136～138
659.	富田寺の思い出（松尾克子） 富田寺	pp.138～139
660.	集団疎開の思い出（脇本妙子） 富田寺	pp.139～140

大阪市堀川国民学校

よるこびのいつみ：“94の瞳”に捧げる湖北・学童疎開手記 八木伊平 1995 【000027559】

661. PP.39～88に参加者の手記、PP.135～204に教員の手記

大阪市南方国民学校

大阪の学童疎開 赤塚康雄 クリエイティブ21 1996 【060001527】

662. 学童疎開の思い出（藤本与志夫） pp.800～801

大阪市南大江国民学校

記憶の湖 第二巻：滋賀県民戦争体験談集シリーズ 滋賀県 1998 【060000422】

663. 白バイに先導されて（今井寛次） 西本誓寺 pp.207～215

大阪市南都島国民学校

大阪の学童疎開 赤塚康雄 クリエイティブ21 1996 【060001527】

664. 遠い夏の日（川竹博子） 光専寺 pp.807～817

大阪市御幸森国民学校

学童疎開の記録 2：ドキュメンタリー学童疎開 全国疎開学童連絡協議会 大空社 1994 【000019734】

665. 浅井君の葬儀（梅沢静子） pp.221～222

大阪市淀川国民学校

666. 思い出の学童疎開：淀川国民学校・集団・縁故学童疎開の記録

大阪市淀川国民学校・昭和20年卒学童疎開（集団・縁故）の記録を残す会 2000 【000040817】

兵庫県

尼崎市立大島国民学校

郷土の空襲：戦争中の人びとのくらし 神戸地区編集委員会 兵庫県学校厚生会 1974 【000055052】

667. ふくろうの音が聞こえる寺 宝光院 pp.123～127

神戸市池田国民学校

炎の記録神戸大空襲：神戸空襲を記録する会10年の歩み 神戸空襲を記録する会 1981 【060004117】

668. 座談会・学童疎開体験を語る（荻阪伸秀） 油屋旅館 明源寺 pp.61～70

神戸空襲体験記 総集編 神戸空襲を記録する会 1975 【000031341】

669. 私は学童疎開をした（荻阪伸秀） 油屋旅館 pp.297～302

神戸市板宿国民学校

郷土の空襲：戦争中の人びとのくらし 神戸地区編集委員会 兵庫県学校厚生会 1974 【000055050】

670. 面会と手紙(浜田容子)		p.105
神戸市大開国民学校		
	炎の記録神戸大空襲:神戸空襲を記録する会10年の歩み 神戸空襲を記録する会	1981 【060004117】
671. 座談会・学童疎開体験を語る(松岡勇雄) 紙屋旅館		pp.61~70
神戸市神楽国民学校		
	炎の記録神戸大空襲:神戸空襲を記録する会10年の歩み 神戸空襲を記録する会	1981 【060004117】
672. 座談会・学童疎開体験を語る(桑山富美子) 金波楼→小林旅館		pp.61~70
神戸市上筒井国民学校		
	学童疎開の記録 2:ドキュメンタリー学童疎開 全国疎開学童連絡協議会 大空社	1994 【000019734】
673. 私の体験を小学生のあなたへ(匹田厚子) 多聞寺		pp.222~226
神戸市川池国民学校		
	歴史読本 臨時増刊号 第25巻第12号(1980年9月) 手記わたしの8月15日 新人物往来社	1980 【160000562】
674. 砂糖のかわりに水彩絵具をなめた(駒井瞭) 北谷国民学校		pp.116~118
神戸市須佐野国民学校		
	郷土の空襲:戦争中の人びとの暮らし 神戸地区編集委員会 兵庫県学校厚生会	1974 【000055050】
675. 学童疎開の思い出(木戸戸治) 教員		pp.83~88
神戸市筒井国民学校		
	郷土の空襲:戦争中の人びとの暮らし 神戸地区編集委員会 兵庫県学校厚生会	1974 【000055050】
676. 疎開・友達・兄と弟(増田順一)		pp.89~93
神戸市遠矢国民学校		
	炎の記録神戸大空襲:神戸空襲を記録する会10年の歩み 神戸空襲を記録する会	1981 【060004117】
677. 座談会・学童疎開体験を語る(梶二三子) ゆとう屋旅館→椿旅館		pp.61~70
神戸市長田国民学校		
	炎の記録神戸大空襲:神戸空襲を記録する会10年の歩み 神戸空襲を記録する会	1981 【060004117】
678. 座談会・学童疎開体験を語る(吾妻正康) 清美旅館		pp.61~70
神戸市西郷国民学校		
	学童集団疎開の記録 II:神戸市西郷国民学校の場合 青木公直	1993 【000047982】
679. (手記)		pp.104~150
	孫たちへの証言 第14集:新世紀を生きる君たちへ 福山琢磨 新風書房	2001 【000041811】
680. 集団疎開で起きた男子全員の脱走事件(米倉澄子) 八浄寺		pp.4~7
神戸市西須磨国民学校		
	8月15日の子どもたち あの日を記録する会 晶文社	1987 【000020236】
681. チキンライス(矢部宜子)		pp.287~288
	学童疎開の記録 2:ドキュメンタリー学童疎開 全国疎開学童連絡協議会 大空社	1994 【000019734】
682. あの日を境に(森川エミ) 風月旅館		pp.226~230
神戸市浜山国民学校		
	8月15日の子どもたち あの日を記録する会 晶文社	1987 【000020236】
683. タニシ(瀬戸山光子)		pp.268~269
神戸市摩耶国民学校		
	8月15日の子どもたち あの日を記録する会 晶文社	1987 【000020236】
684. カレーライス(内林タカ子)		p.283
	郷土の空襲:戦争中の人びとの暮らし 神戸地区編集委員会 兵庫県学校厚生会	1974 【000055050】
685. 疎開地をたずねて(中村茂隆)		pp.100~105
神戸市湊川国民学校		
	郷土の空襲:戦争中の人びとの暮らし 神戸地区編集委員会 兵庫県学校厚生会	1974 【000055050】
686. 付きそい教師の思い出(中西甚太郎) 天理教会		pp.106~112
神戸市六甲国民学校		
	戦中戦後の生活体験集 戦中・戦後資料収集委員会 大阪電気通信大学高等学校後援会	1988 【000051777】

687.	学童疎開 (吉井かね子)	観生院			pp.52~54
	多摩市民の戦争体験：子らに伝える平和への願い 多摩市民の戦争体験を記録する会 彩流社 1982				【000052175】
688.	学童疎開児と共に (岩尾美都子)	寮母			pp.145~157
	神戸市若宮国民学校				
	郷土の空襲：戦争中の人びとの暮らし 中播・西播・但馬地区編集委員会 兵庫県学校厚生会 1974				【000055051】
689.	集団疎開の思い出 (阪上敏夫)	仏教親友会	教員		pp.107~112
	西宮市今津国民学校				
	学童疎開の記録 2：ドキュメンタリー学童疎開 全国疎開学童連絡協議会 大空社 1994				【000019734】
690.	寒村での窮乏に耐えて (木村隆子)	引率教員			pp.340~346
	郷土の空襲：戦争中の人びとの暮らし 阪神・丹有地区編集委員会 兵庫県学校厚生会 1974				【000055053】
691.	五右衛門ぶろと友情 (水垣勘次)	大龍寺			pp.123~126
	西宮市建石国民学校				
692.	縁故→集団 (香登実業学校)	学童疎開体験：国民学校五年生の兄と四年生の妹の体験と記録	岩本哲	大空社	1995
	学童疎開の記録 2：ドキュメンタリー学童疎開 全国疎開学童連絡協議会 大空社 1994				【000019734】
693.	玉音放送を聞いて (岩本哲)	実業学校			pp.230~232
	不忘山：学童疎開40周年記念文集 不忘会 1984				【000040955】
694.	学童集団疎開昭和十九年と二十年の相違 (岩本哲)				pp.200~204
	武庫郡魚崎国民学校				
695.	金光教会	わたし11さい：学童疎開のこどもたち	うえずみひさこ	技術経済研究所	2007
	武庫郡鳴尾北国民学校				
	平和へのねがい第8号：終戦50周年を迎えて 西宮市 1996				【000041807】
696.	学童集団疎開に付添って (河野美代子)	公文寮			pp.54~56
	広島県				
	呉市片山国民学校				
	追憶：平和への切なる願いを込めて 広島県立呉三津田高校4回生同期会国民学校入学1期生が綴る戦中・戦後体験記編集委員会 2009				【000052427】
697.	忘れられぬ母のおにぎり (岡田良明)				pp.93~94
698.	田舎の生活を堪能 (家頭満子)	善明寺			pp.117~118
	呉市荒神町国民学校				
	追憶：平和への切なる願いを込めて 広島県立呉三津田高校4回生同期会国民学校入学1期生が綴る戦中・戦後体験記編集委員会 2009				【000052427】
699.	一番美味しかった青大将 (へび) ~疎開体験~ (久保隆司)	向原国民学校			pp.100~104
700.	激動時代の思い出~娘にすすめられて~	養泉寺			pp.108~110
	呉市五番町国民学校				
	追憶：平和への切なる願いを込めて 広島県立呉三津田高校4回生同期会国民学校入学1期生が綴る戦中・戦後体験記編集委員会 2009				【000052427】
701.	米2割、麦6割、ジャガイモ2割の食事 (大野逸子)	浄福寺			p.92
702.	辛かった学童疎開 (木川富男)	源光寺			pp.95~97
	父は沖縄で死んだ：沖縄海軍部隊司令官とその息子の歩いた道 大田英雄 高文研 1989				【000032058】
703.	源光寺				pp.57~61
	呉市辰川国民学校				
	追憶：平和への切なる願いを込めて 広島県立呉三津田高校4回生同期会国民学校入学1期生が綴る戦中・戦後体験記編集委員会 2009				【000052427】
704.	記念植樹をしてくれた疎開地 (岸本介位)	瑞円寺			pp.97~100
705.	欲しがりません勝つまでは (西沖正)	岩屋寺			pp.106~107
706.	往きは良いよい、帰りは怖い (船尾正規)				pp.112~115
707.	終戦前後6ヶ月の思い出 (宮岡實顕)				pp.115~117
	(呉市港町国民学校)				
	追憶：平和への切なる願いを込めて 広島県立呉三津田高校4回生同期会国民学校入学1期生が綴る戦中・戦後体験記編集委員会 2009				【000052427】
708.	忘れ得ぬ我が第二の故郷、空豆の上下町 (岡部義信)	専教寺			p.94
	呉市宮原国民学校				
	呉を語る：体験手記集 呉市 2003				【000045060】

709.	学童疎開(徳田久美雄/坂村エツ子)	和木家			pp.36~39
広島市神崎国民学校					
710.	安養寺	ぼくは満員電車で原爆を浴びた:11歳の少年が生きぬいたヒロシマ	米澤鉄志	小学館 2013	【060004818】
		昭和わたしの証言 2	津森明	美巧社 2010	【000057274】
711.	九歳の戦場(竹中生昌)	安養寺			pp.135~154
		戦後50年今、伝えたいこと:戦争体験記	栃木県高齢者総合センター	1996	【000037116】
712.	学童疎開と原子爆弾(小松ひろみ)	葉王寺			pp.324~331
広島市幟町国民学校					
		手記被爆者たちの40年	朝日新聞大阪社会部	朝日新聞社 1986	【000053634】
713.	集団疎開先に来た父の手紙(木村靖子)	光明寺			pp.68~72
		不忘山:学童疎開40周年記念文集	不忘会	1984	【000040955】
714.	広島にて(木村靖子)	光明寺			pp.216~218
広島高等師範学校附属国民学校					
		ヒロシマの雨はドームの涙 Part2:子どもと父母と教師が書いた原爆の記録;1	国際平和教育研究会	教育出版センター 1975	【000055672】
715.	ああ、学童疎開(岡部充男)	能楽寺 教員			pp.117~130
広島市三篠国民学校					
		戦争知ってますか:あなたに伝えるわたしの戦争体験	板橋大運動実行委員会	日本教育出版サービス 1981	【000051766】
716.	五年生の夏、苦しみの始まり(斉藤禮聡)				pp.127~132
沖縄県					
沖縄師範学校附属国民学校					
		那覇市史 資料篇 第3巻 7:市民の戦時・戦後体験記 1(戦時篇)	那覇市	1981	【000022478】
717.	疎開学童の記憶(仲宗根孝尚)	宮崎県師範学校			pp.234~238
718.	食べ物がなかった疎開地(城間健)				pp.224~226
那覇市安里国民学校					
		あの日の子どもたち:1945・8・15	藤本浩之輔	藤本佳子 1996	【000034328】
719.	沖縄・熊本 南海に散った千五百の命(稲嶺成作)				pp.126~135
東風平村東風平国民学校					
		学童疎開の記録 2:ドキュメンタリー学童疎開	全国疎開学童連絡協議会	大空社 1994	【000019734】
720.	学童集団疎開引率の思い出の概略(新城一由)	引率教員			pp.243~246
平良市立平良第二国民学校					
		学童疎開の記録 2:ドキュメンタリー学童疎開	全国疎開学童連絡協議会	大空社 1994	【000019734】
721.	あわただしく沖縄から宮崎へ(下地明増)	引率教員			pp.241~243
玉城村玉城国民学校					
		那覇市史 資料篇 第3巻 7:市民の戦時・戦後体験記 1(戦時篇)	那覇市	1981	【000022478】
722.	辛かった学童疎開(長浜秀子)				pp.232~234
豊見城村豊見城第一国民学校					
		豊見城村史 第6巻:戦争編	豊見城村史戦争編専門部会	豊見城村役所 2001	【060003538】
723.	疎開学童引率の苦闘(大小堀松三)	正念寺 教員			pp.936~940
724.	昭和19年学童疎開の記録(宣保光信)	正念寺			pp.905~914
725.	宮崎への学童疎開(外間右則)				pp.932~936
726.	学童疎開の思い出(比嘉弘正)				pp.945~946
豊見城村豊見城第二国民学校					
		豊見城村史 第6巻:戦争編	豊見城村史戦争編専門部会	豊見城村役所 2001	【060003538】
727.	疎開学童を引率して(上原信子)	正念寺 教員			pp.950~952
728.	学童疎開を振り返って(大城勇)				pp.924~928
729.	宮崎疎開の思い出(大城忠助)	北郷国民学校			pp.954~956
中城村中城国民学校					
		ぶっそうげの花ゆれて 第2集:沖縄戦と戦後教育	沖縄県退職教職員の会	ドメス出版 1995	【000045365】

730.	学童疎開とともに（玉城信子）	教員の妻			pp.61～69
那覇市上山国民学校					
	思慕と飢餓のはざままで：平和への願いをこめて5 学童疎開編 創価学会婦人平和委員会 第三文明社 1982 【060004635】				
731.	哀しき”うるま島”（与座マサ）	江陽女学校	寮母		pp.199～206
	那覇市史 資料篇 第3巻 7：市民の戦時・戦後体験記 1（戦時篇） 那覇市 1981 【000022478】				
732.	疎開学童を引率して（真栄城芳子）				pp.219～224
那覇市垣花国民学校					
	沖縄・学童たちの疎開 琉球新報社 1995 【000042348】				
733.	死の海から奇跡の生還（儀間真勝）	対馬丸生還者			pp.27～29
那覇市甲辰国民学校					
	ぶっそうげの花ゆれて 第2集：沖縄戦と戦後教育 沖縄県退職教職員の会 ドメス出版 1995 【000045365】				
734.	無縁故疎開児童とともに（仲間恒子）				pp.135～143
	那覇市史 資料篇 第3巻 7：市民の戦時・戦後体験記 1（戦時篇） 那覇市 1981 【000022478】				
735.	いやがる息子を疎開させて（武富良松）	疎開学童の親			pp.239～240
那覇市天妃国民学校					
	ぶっそうげの花ゆれて：沖縄戦と女教師 沖縄県退職教職員の会婦人部 ドメス出版 1984 【000031443】				
736.	戦争は無意味に人を死に至らす（徳田渢）	教員			pp.33～36
	学童疎開の記録 2：ドキュメンタリー学童疎開 全国疎開学童連絡協議会 大空社 1994 【000019734】				
737.	愛児の死をみながら（田名宗徳）	引率教員			pp.237～241
	打ち砕かれしうるま島：戦争を知らない世代へ1（沖縄編） 創価学会青年部反戦出版委員会 第三文明社 1974 【000023596】				
738.	学童疎開・対馬丸の最後（田名宗徳）				pp.263～281
	命どう宝：沖縄戦・痛恨の記憶 創価学会青年平和会議 第三文明社 2003 【000043702】				
739.	学童疎開・対馬丸の最後（田名宗徳）	教員			pp.93～118
那覇市泊国民学校					
	ぶっそうげの花ゆれて：沖縄戦と女教師 沖縄県退職教職員の会婦人部 ドメス出版 1984 【000031443】				
740.	太郎は父の故里に、花子は母の故里に（又吉トヨ）	広原国民学校			pp.36～43
	沖縄・学童たちの疎開 琉球新報社 1995 【000042348】				
741.	希望託し送った娘二人（外間宏栄）	対馬丸／疎開学童の親			pp.48～50
742.	安否尋ねる手紙に胸痛む（安次富長昭）	柳屋			pp.43～45
	那覇市史 資料篇 第2巻中の6：戦時記録 那覇市 1974 【000022471】				
743.	広原寮二年余（泊国民学校学童疎開の記録）（又吉トヨ）				pp.22～26
那覇市那覇国民学校					
	ぶっそうげの花ゆれて：沖縄戦と女教師 沖縄県退職教職員の会婦人部 ドメス出版 1984 【000031443】				
744.	生き残りの苦悩（渡慶次ハル）	寮母			pp.27～32
	沖縄・学童たちの疎開 琉球新報社 1995 【000042348】				
745.	修学旅行気分に乗った疎開船（上原妙子）	対馬丸生還者			pp.38～40
本部町本部国民学校					
	沖縄・学童たちの疎開 琉球新報社 1995 【000042348】				
746.	30年間、遺族援護に奔走（新里清篤）	対馬丸生還者			pp.24～27
747.	ステージで沖縄戦告発（石坂真砂）				pp.46～48
与那原国民学校					
748.	与那原の学童集団疎開 第1部（体験集）：ムギメシヒトツココフタツ 与那原町教育委員会 1995 【000040788】				
	ぶっそうげの花ゆれて：沖縄戦と女教師 沖縄県退職教職員の会婦人部 ドメス出版 1984 【000031443】				
749.	出発（新里とみ）				pp.20～23
750.	対馬丸の沈没（富川ハル子）				pp.24～27

II 縁故疎開

神奈川県				
川崎市大島国民学校				
		川崎空襲・戦災の記録 戦時下の生活記録編 川崎市	1975	【000018602】
751.	大島国民学校と別れる(小沢恒夫)	神奈川県足柄下郡豊川村		pp.137~147
川崎市川中島国民学校				
		川崎空襲・戦災の記録 戦時下の生活記録編 川崎市	1975	【000018602】
752.	“桜井の別れ”(竹内千江)	静岡県駿東郡須走村		pp.152~155
川崎市南河原国民学校				
		川崎空襲・戦災の記録 戦時下の生活記録編 川崎市	1975	【000018602】
753.	帰ってきた長男(永塚春子)	茨城県 疎開学童の親		pp.158~159
精華初等学校				
	横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】			
754.	いじめ・日本住血吸虫病(伊藤正義)	山梨県甲府市上条新居町		p.463
成美学園初等科				
	横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】			
755.	富士山・八ヶ岳・南アルプス・茅ヶ岳に囲まれて(亀井和江)	山梨県韮崎		pp.466~467
横須賀市高坂国民学校				
		横須賀の学童疎開：体験記集 横須賀市教育研究所	2007	【000051903】
756.	豊かな自然、遠き日々(西沢良男)	長野県上高井郡井上村		pp.222~223
横須賀市汐入国民学校				
		横須賀の学童疎開：体験記集 横須賀市教育研究所	2007	【000051903】
757.	愛知県への縁故疎開(高橋利夫)	愛知県海部郡		p.280
758.	縁故疎開の体験(山田敏夫)	神奈川県中郡高部屋村		pp.284~286
横須賀市山崎国民学校				
		横須賀の学童疎開：体験記集 横須賀市教育研究所	2007	【000051903】
759.	「天皇に捧げる命」を信じた疎開っ子(石井美代子)	福島県白河市		pp.146~148
横浜市青木国民学校				
	横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】			
760.	鍛えられた農村生活(丸田正樹)	福島県磐城郡勿来村		p.259
横浜市東国民学校				
	横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】			
761.	いじめと横浜大空襲(大石俊雄)	静岡県榛原郡川崎町		pp.388~389
横浜市磯子国民学校				
	横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】			
762.	妹も亡くし忘れたことにして(武宮康夫)	鹿児島県		pp.434~435
763.	死ぬ時は家族一緒にと帰る(鈴木弘子)	神奈川県中郡相川村		p.435
横浜市一本松国民学校				
	横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】			
764.	ハダシで毎日登校(高橋昌子)	埼玉県児玉郡藤田村		pp.390~391
765.	母と父の実家で(深谷泰弘)	埼玉県		pp.398~399
横浜市老松国民学校				
	横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】			
766.	私の転換点(町眞次)	福島県二本松		pp.280~281
767.	疎開先は大倉山(田中妙子)	神奈川県		pp.282~283
768.	雪の記憶(湯川敏雄)	新潟県三島郡大積村		p.283
769.	予科練の歌(長谷川忠男)	神奈川県横浜市		pp.283~284
770.	花との孤独な対話(川上栄子)			p.284

横浜市大岡国民学校

横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】			
771.	農村の生活を知る（鈴木秀夫）	神奈川県御殿場	pp.366～367
772.	手製のぞうりて通学（犬飼純夫）	岡山県都窪郡庄村	pp.369～370
773.	夢の中に出てくる疎開の地（大蔭ます美）	山梨県北都留郡上野原町	p.370
774.	凝縮された時間（彦坂幸子）	神奈川県横浜市戸塚区	p.373

横浜市太田国民学校

横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】			
775.	私にとっての第二の故郷（渡辺豪也）	神奈川県中郡秦野町	pp.377～378
776.	或る疎開児の足跡（松本武）	埼玉県北足立郡	pp.380～381
777.	先生からきた一通の手紙（只熊富江）	東京都南多摩郡忠生村	pp.383～384
778.	トマトがおいしかった（南川浩）	神奈川県片瀬	p.385

横浜市大島国民学校

横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】			
779.	好意的だった級友たち（杉浦凱子）	福島県	p.337
780.	手巻き煙草づくり（井尻和子）	岐阜県益田郡小坂町	pp.337～338

横浜市岡野国民学校

横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】			
781.	我が家を揺さぶった二大事件（小暮葉満子）	群馬県勢多郡荒砥村	pp.246～247
782.	厳しかった農家の生活（斎藤茂）	山形県	p.249
783.	学籍簿届かず（大谷れい子）	静岡県伊東	p.250
784.	稲作をしながら雑穀をたべる（依田照子）	長野県松代	p.250

横浜市神奈川国民学校

横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】			
785.	かえりみれば（神村明一）	神奈川県横浜市	pp.178～179
786.	亀太郎爺さんに可愛がられ（高田重光）	神奈川県足柄上郡岡本村	p.179

横浜市岸谷国民学校

横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】			
787.	リヤカーで病院へ（原弘子）		pp.194～195

横浜市北方国民学校

横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】			
788.	友達に助けてもらった稲刈り（植木悦夫）	神奈川県高座郡相模原町	pp.324～325
789.	登山好きになった（中里仁一）	群馬県	pp.327～328
790.	孤独と向かい合い（山口一恵）	鳥取県	pp.328～329

横浜市共進国民学校

横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】			
791.	思い出すのは食べ物ばかり（鈴木幸雄）	宮城県宮城郡多賀城村	pp.361～362
792.	農作業……新しい発見が（植田総子）	神奈川県横浜市	pp.362～363

横浜市幸ヶ谷国民学校

横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】			
793.	海苔巻き（岩崎弘）		pp.185～186

横浜市白幡国民学校

横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】			
794.	桑の実・落穂拾い（安澤順一郎）		p.163

横浜市末吉国民学校

横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】			
795.	父も母も相次いで亡くなり（伊藤恒）	宮城県仙台市	pp.224～225

横浜市滝頭国民学校

横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会		1996	【000050685】
796.	墓地と怪談ばなし(杉山清子) 静岡県沼津市		pp.448~449
横浜市立野国民学校			
横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会		1996	【000050685】
797.	無差別の機銃掃射(大木邦夫) 静岡県熱海		p.332
横浜市戸部国民学校			
横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会		1996	【000050685】
798.	強く感じた家族の絆(小沢伊利子) 新潟県新発田市		p.413
799.	思い出す三つのこと 機銃掃射・シラミ・突然泣く(鈴木昭三) 茨城県水戸市		pp.413~414
800.	食べ物に苦勞(和田雪子) 岐阜県加茂郡坂祝村		pp.414~415
801.	母と永遠の別れ(渡辺敏子) 神奈川県小田原		p.418
横浜市豊岡国民学校			
横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会		1996	【000050685】
802.	籠一杯の草刈り(鈴木治枝) 神奈川県		p.197
横浜市西戸部国民学校			
横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会		1996	【000050685】
803.	赤ちゃんのお守り(和田光世) 神奈川県鎌倉市		p.427
横浜市西前国民学校			
横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会		1996	【000050685】
804.	藁草履をはいて通学(清水文子) 福島県		p.404
805.	いじめで再疎開のA君(上野初雄)		pp.406~407
横浜市根岸国民学校			
横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会		1996	【000050685】
806.	方言がわからず困る(栗原恵美) 福島県		p.430
807.	待ち遠しかった母の食糧(田島綾子) 神奈川県大和市		pp.432~433
横浜市浜町国民学校			
横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会		1996	【000050685】
808.	いじめも五十年後に氷解(石綿荘一)		p.213
横浜市日枝国民学校			
横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会		1996	【000050685】
809.	疎開直後に亡くなった妹(野々山基子)		p.359
810.	捨てられたウサギの餌(石嶋妙子) 群馬県群馬郡総社町		p.360
横浜市平沼国民学校			
横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会		1996	【000050685】
811.	空襲の思い出ばかり(山崎嘉子) 神奈川県横浜市		p.243
横浜市二谷国民学校			
横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会		1996	【000050685】
812.	相撲で五人抜き(柴山左武郎) 山形県酒田市		pp.188~189
813.	はじめ言葉わからず(大西泰男) 三重県桑名郡城南村		p.189
横浜市平安国民学校			
学童疎開の記録 2：ドキュメンタリー学童疎開 全国疎開学童連絡協議会 大空社		1994	【000019734】
814.	疎開ッ子(中村和子) 北海道本別町		pp.401~403
横浜市平楽国民学校			
横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会		1996	【000050685】
815.	疎開先が全焼(前田秀子) 神奈川県		pp.311~312
横浜市星川国民学校			
横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会		1996	【000050685】
816.	いじめ・大地震・母の再婚(平野岑男)		pp.142~143

横浜市本町国民学校

横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】			
817.	自信をつけさせてくれた疎開地の学校（宇山善夫）	千葉県安房郡白浜町	p.272
818.	仙石原別荘地での疎開（福山實）	神奈川県箱根	pp.272～274
819.	林間学校での集団・縁故疎開（菊地章）	神奈川県茅ヶ崎市辻堂	pp.274～275

横浜市間門国民学校

横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】			
820.	父の故郷白河へ（佐藤吉乃）		pp.341～342
821.	高知での体験（坂本拓土）	高知県須崎町	p.343
822.	土佐弁と美しい景色（坂本升）	高知県須崎町	p.344
823.	トイレに慣れず、方言わからず（都築トシ）	岐阜県安八郡仁木村	pp.344～345
824.	焼夷弾と爆弾と（天野洋一）	埼玉県入間郡水富村	pp.345～346

横浜市峯国民学校

横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】			
825.	楽しいことは何もなかった（林愛子）	埼玉県	pp.144～145

横浜市宮谷国民学校

横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】			
826.	空襲で逝った友（加藤美智子）	兵庫県	pp.251～252

横浜市元街国民学校

横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】			
827.	集団疎開のかわいそうな生徒たち（梶原史郎）	富山県高岡市	pp.318～319
828.	B 29の大編隊をみる（大河原紳治）	静岡県駿河小山	p.319
829.	強烈だった氷上はだしマラソン（桑原登久子）	石川県	pp.319～320

横浜市横浜国民学校

横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】			
830.	はだしの分列行進（広瀬肇）	神奈川県鎌倉市	p.263
831.	ありがたい疎開先の恩師や同級生		pp.268～269

横浜市吉田国民学校

横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】			
832.	雪道を裸足で通学（関根光和）	埼玉県	pp.294～295

横浜紅蘭高等女学校附属初等科

横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996 【000050685】			
833.	見知らぬ人の中での田舎生活（中瀬トミエ）	山梨県西八代郡大塚村 千葉県	pp.458～459

千葉市登戸国民学校

孫たちへの証言 第20集：世界平和への遺言 福山琢磨 新風書房 2007 【000050105】			
834.	疎開しての「いじめ」が僕にとっての戦争（今関知良）	茨城県 愛知県	pp.65～67

名古屋市市中村国民学校

835.		三重県員弁郡阿下喜町	疎開記：子供のとき戦争があった 坂井真弥 晶文社 1988 【000020237】
------	--	------------	---

名古屋市正木国民学校

焼け跡に立つ虹：戦争体験の記録 愛知県教員組合 1984 【000055455】			
836.	私の小学生時代（伊東昭夫）	愛知県津島	pp.179～185

奈良市第六国民学校

飢えと怯えに耐えた日々：戦時下の疎開地・奈良の記録 創価学会青年部反戦出版委員会 第三文明社 1984 【000033223】			
837.	少年が見た戦争（岡埜和弘）	三重県員弁郡阿下喜町	pp.166～172

京都府				
船井郡竹野国民学校				
		8月15日の子どもたち	あの日を記録する会 晶文社	1987 【000020236】
838.	おにぎり(小泉敦子)			pp.269~270
大阪府				
大阪市泉尾東国民学校				
		戦争、貧乏を乗り越えた大阪の子供の遊び	森下繁 風詠社	2012 【060004711】
839.		石川県羽咋		pp.37~63
大阪市玉造国民学校				
		学童疎開の記録 2:ドキュメンタリー学童疎開 全国疎開学童連絡協議会	大空社	1994 【000019734】
840.	別れ・出会い(檜崎寿太郎)	岡山県和気郡塩田村		pp.403~404
大阪市南大江国民学校				
		飢えと怯えに耐えた日々:戦時下の疎開地・奈良の記録 創価学会青年部反戦出版委員会	第三文明社	1984 【000033223】
841.	瞳が映した虚像の生活(和田幹男)	奈良県奈良市		pp.194~198
兵庫県				
多紀郡大山国民学校				
		8月15日の子どもたち	あの日を記録する会 晶文社	1987 【000020236】
842.	下痢(岩田公子)			p.270
武庫郡魚崎国民学校				
		われら国民学校生:戦火の下の子どもたち	長谷川憲司 神戸:長征社	2001 【000042674】
843.	三重丸の疎開生活(宮本多加志)	岡山県浅口郡鴨方町		pp.188~193
広島県				
呉市岩方国民学校				
		追憶:平和への切なる願いを込めて	広島県立呉三津田高校4回生同期会国民学校入学1期生が綴る戦中・戦後体験記編集委員会	2009 【000052427】
844.	えんどう豆の入った真っ白なおむすび(松本桂子)	広島県		pp.136~140
845.	銃後の苦勞と私見(日高敏夫)			pp.128~129
呉市片山国民学校				
		追憶:平和への切なる願いを込めて	広島県立呉三津田高校4回生同期会国民学校入学1期生が綴る戦中・戦後体験記編集委員会	2009 【000052427】
846.	自立の精神を育てられた縁故疎開(國光俊治)	岡山県		pp.122~124
呉市上山田国民学校				
		追憶:平和への切なる願いを込めて	広島県立呉三津田高校4回生同期会国民学校入学1期生が綴る戦中・戦後体験記編集委員会	2009 【000052427】
847.	家族との別れを覚悟した疎開(桧和田晃)	広島県双三郡三次町		pp.130~135
呉市長迫国民学校				
		追憶:平和への切なる願いを込めて	広島県立呉三津田高校4回生同期会国民学校入学1期生が綴る戦中・戦後体験記編集委員会	2009 【000052427】
848.	寂しかった縁故疎開(中村美都子)	広島県倉橋島		pp.126~127
呉市二河国民学校				
		追憶:平和への切なる願いを込めて	広島県立呉三津田高校4回生同期会国民学校入学1期生が綴る戦中・戦後体験記編集委員会	2009 【000052427】
849.	我が家の若草物語(仁井内文枝)	広島県倉橋島		pp.104~106
850.	蒲刈島での1年間(楠守)	広島県安芸郡上蒲刈島		pp.120~121
呉市本通国民学校				
		追憶:平和への切なる願いを込めて	広島県立呉三津田高校4回生同期会国民学校入学1期生が綴る戦中・戦後体験記編集委員会	2009 【000052427】
851.	よく食べた芋づるやいなご(石橋政雄)	広島県三原市高坂		p.119
広島市青崎国民学校				
		追憶:平和への切なる願いを込めて	広島県立呉三津田高校4回生同期会国民学校入学1期生が綴る戦中・戦後体験記編集委員会	2009 【000052427】
852.	疎開先で見た原爆(曾根律男)	広島県能美島		pp.168~171

福岡県

八幡市黒崎国民学校

853. わたしの戦争体験：戦後50周年に寄せて 福岡県 1996 【000034245】

III 残留学童

愛知県

名古屋市清水国民学校

孫たちへの証言 第13集：特別号・21世紀への伝言 福山琢磨 新風書房 2000 【000040252】

854. 肺結核のため集団疎開できず名古屋に残される（掛布知伸） pp.109～112

大阪府

大阪市粉浜国民学校

孫たちへの証言 第8集：50年前のあのことこのこと 福山琢磨 新風書房 1995 【000020816】

855. 戦時下の残留学童たち（木下實） pp.84～86

大阪市玉出国国民学校

不忘山：学童疎開40周年記念文集 不忘会 1984 【000040955】

856. 学籍簿を抹消された残留学童（清水保） pp.221～226

大阪市玉出第一国民学校

ボクの戦争 清水保 教育史料出版会 1993 【000020813】

857. pp.63～

IV 集団疎開受入側

神奈川県

川崎市小田国民学校

川崎空襲・戦災の記録 戦時下の生活記録編：川崎市 川崎：川崎市 1975 【000018602】

858. 地元の町会長として（井上五郎治） 神奈川県川崎市登戸 ※町会長 PP.253～255

輝け杉の子：むらぎものたぎつ思いを 川崎市学童集団疎開記念誌 川崎市学童疎開記念碑建設実行委員会 1985 【000042345】

859. 集団疎開の思い出（井上五郎治） 神奈川県川崎市登戸 ※町会の人 PP.45～46

川崎市平間国民学校

輝け杉の子：むらぎものたぎつ思いを 川崎市学童集団疎開記念誌 川崎市学童疎開記念碑建設実行委員会 1985 【000042345】

860. 疎開の宿から（内海トキエ） 神奈川県中郡大山町 かんき楼 PP.108～109

川崎市宮前国民学校

輝け杉の子：むらぎものたぎつ思いを 川崎市学童集団疎開記念誌 川崎市学童疎開記念碑建設実行委員会 1985 【000042345】

861. 記念像建立に寄せて（小笠原さと子） 神奈川県中郡大山町 寮主 PP.198～199

川崎市渡田国民学校

川崎空襲・戦災の記録 戦時下の生活記録編 川崎市 1975 【000018602】

862. 本堂を提供（中島亨倫） 神奈川県川崎市 等覚院 ※住職 PP.269～270

横須賀市船越国民学校

阿夫利嶺にこだまして：厚木高女学徒勤労働員の記 厚木高女青葉会記念誌実行委員会 青葉会 2000 【060002116】

863. 学童疎開の子供たち（服部ツネ子） 神奈川県南毛利村 PP.265～267

横浜市石川国民学校

撃ちぬかれた本 戦時下の小田原地方を記録する会 夢工房 1995 【000035808】

864. 学童疎開を受け入れて（倉田ヤス子） 神奈川県小田原市 翠光館 PP.153～154

横浜市磯子国民学校

学童集団疎開の記録 秦野市 1994 【000056556】

865. 集団疎開の思い出（近藤喜美代） 神奈川県中郡大根村 自興院 P.202

866. 学童疎開受け入れの思い出（湯本玲子） 神奈川県中郡大根村 龍法寺 PP.212～213

横浜市大岡国民学校

	焦げたはし箱：語り伝えよう戦時下の小田原 戦時下の小田原地方を記録する会 夢工房 1992	【000051740】
867.	食べることに追っかけられて 福巖寺(天利俊明) 神奈川県小田原市 ※住職	PP.172~175
868.	横浜の児童を受け入れて 東泉院(岸達志/長谷川ハツエ) 神奈川県小田原市 ※住職	PP.176~181
横浜市金沢国民学校		
	学童集団疎開の記録 秦野市 1994	【000056556】
869.	疎開児童の子どもを思い浮かべて(大佛トヨ) 神奈川県中郡東秦野村 円通寺	PP.262~263
横浜市神橋国民学校		
	横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996	【000050685】
870.	集団疎開の他に縁故も(佐藤雪子) 神奈川県横浜市緑区中山町 大蔵寺 ※住職夫人	P.173
横浜市栗田谷国民学校		
	横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996	【000050685】
871.	子供達を受け入れて……(桑原芳子) 神奈川県足柄上郡山北町	PP.238~239
横浜市滝頭国民学校		
	学童集団疎開の記録 秦野市 1994	【000056556】
872.	大川旅館での疎開の様子(関口タツ) 神奈川県秦野町 大川旅館	PP.173~174
横浜市生麦国民学校		
	横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996	【000050685】
873.	五十年昔が昨日のよう(鳥澤芳宏) 神奈川県足柄上郡中井村 米倉寺 ※住職	PP.190~191
横浜市根岸国民学校		
	学童集団疎開の記録 秦野市 1994	【000056556】
874.	集団疎開を迎えて(内藤美彦) 神奈川県中郡南秦野町国民学校 ※学童	PP.246~247
横浜市間門国民学校		
	横浜市の学童疎開：それは子どもたちのたたかいであった 横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会 1996	【000050685】
875.	学童集団疎開の思い出(安藤伸子) 神奈川県足柄下郡温泉村宮の下 奈良屋 ※女将	PP.530~531
横浜市六浦国民学校		
	学童集団疎開の記録 秦野市 1994	【000056556】
876.	六浦校の集団疎開について(鳴瀬協子) 神奈川県中郡北秦野村 定源寺	PP.296~297
大阪府		
大阪市芦原国民学校		
	記憶の湖 第二巻：滋賀県民戦争体験談集シリーズ 滋賀県 1998	【060000422】
877.	半年あまりで再疎開(沙加戸圭夫) 滋賀県大津市膳所 響忍寺 ※住職	PP.257~264
大阪市精華国民学校		
	記憶の湖 第二巻：滋賀県民戦争体験談集シリーズ 滋賀県 1998	【060000422】
878.	愛知川町への疎開(木津龍尊) 滋賀県愛知郡豊国村 信光寺 ※住職	PP.159~186
大阪市聖賢国民学校		
	福井空襲史 福井空襲史刊行会 1978	【000018662】
879.	大阪の疎開学童を受け入れて(佐々木鏡順) 福井県福井市	PP.604~606
大阪市西船場国民学校		
	斐川と学童集団疎開：二十一世紀に伝えたい貴重な証言 星野美枝 島根県斐川町 2001	【060004671】
880.	息子をかわいがってくれた疎開生たち(吉岡智恵子) 島根県簸川郡 永徳寺寮	PP.251~252
881.	喜見寺が迎えた学童たち(美多章江) 島根県簸川郡 喜見寺	PP.265~268
882.	出征中の夫・息子に思いを重ねて(勝部ヨシ子・錦織雪子) 島根県簸川郡 保寿寺	PP.275~278
883.	疎開児童(飯塚常一郎) 島根県簸川郡庄原国民学校 ※	PP.253~254
884.	十二礼のひびき(佐々木芳正) 島根県簸川郡 覚専寺 ※住職	PP.259~263
885.	半世紀ぶりの再会(三浦隆心) 島根県簸川郡 西光寺 ※住職	PP.263~265
886.	保寿寺寮の友よ(藤岡大拙) 島根県簸川郡 保寿寺 ※住職	PP.268~273
887.	空襲に遭ったおみやげの大根(飯塚マサ子) 島根県簸川郡 永徳寺寮 ※手伝い	PP.252~253
888.	姉ちゃん、あしたもまたお願いね(中浜八重) 島根県簸川郡 保寿寺 ※手伝い	PP.273~275

大阪市堀江国民学校

斐川と学童集団疎開：二十一世紀に伝えたい貴重な証言 星野美枝 島根県斐川町 2001 [060004671]			
889.	疎開学童を預かって（三原シゲノ） 島根県簸川郡		PP.255～257
(大阪市八幡屋北国民学校)			

思慕と飢餓のはざままで：平和への願いをこめて5 学童疎開編 創価学会婦人平和委員会 第三文明社 1982 [060004635]			
890.	二十五人の女子学童疎開児（松井末子） 香川県板出市 ※原本では「大阪八幡国民学校」		PP.241～247
兵庫県			

神戸市水木国民学校

郷土の空襲：戦争中の人びとの暮らし 中播・西播・但馬地区編集委員会 兵庫県学校厚生会 1974 [000055051]			
891.	寺に疎開の子どもを預かって（新田俊龍） 兵庫県養父郡大屋村 山路寺 ※住職		PP.113～118
広島県			

呉市両城国民学校

教師が語りつく戦争体験 広島県教職員組合海田地区支部戦争体験記編集委員会 1983 [000056539]			
892.	学童疎開・勤労奉仕作業（宇山小学校・森本清子） 広島県豊田郡 ※教員		PP.33～39

学校名索引

1. 配列は都道府県ごとの五十音順である。
2. 学校名に「第一」「第二」数字の小さい順に配列した。
3. 各項目の右側の数字は、該当ページ番号である。

北海道	川崎市平間国民学校 6,34	横浜市磯子国民学校 10,29,34	横浜市立野国民学校 14,31
函館市青柳国民学校 2	川崎市富士見国民学校 6	横浜市市場国民学校 10	横浜市戸塚国民学校 14
函館市柏野国民学校 2	川崎市前沼国民学校 6	横浜市一本松国民学校 10,29	横浜市戸部国民学校 14,31
函館市幸国民学校 2	川崎市南河原国民学校 6,29	横浜市井戸ヶ谷国民学校 11	横浜市富岡国民学校 14
函館市新川国民学校 2	川崎市宮前国民学校 7,34	横浜市稲荷台国民学校 11	横浜市豊岡国民学校 14,31
函館市高盛国民学校 2	川崎市御幸国民学校 7	横浜市岩崎国民学校 11	横浜市生麦国民学校 15,35
函館市中島国民学校 2	川崎市向国民学校 7	横浜市浦島国民学校 11	横浜市西潮田国民学校 15
函館市八幡国民学校 2	川崎市渡田国民学校 7,34	横浜市老松国民学校 11,29	横浜市西戸部国民学校 15,31
函館市東川国民学校 2	精華初等学校 8,29	横浜市大岡国民学校 11,30,34	横浜市西前国民学校 15,31
	成美学園初等科 8,29	横浜市太田国民学校 11,30	横浜市根岸国民学校 15,31,35
	横須賀市池上国民学校 8	横浜市大鳥国民学校 12,30	横浜市浜国民学校 15
岩手県	横須賀市浦賀国民学校 8	横浜市岡野国民学校 12,30	横浜市浜町国民学校 16,31
釜石市立八雲国民学校 2	横須賀市浦郷国民学校 8	横浜市帷子国民学校 12	横浜市日枝国民学校 16,31
	横須賀市大津国民学校 8	横浜市神奈川国民学校 12,30	横浜市東潮田国民学校 16
神奈川県	横須賀市追浜国民学校 8	横浜市金沢国民学校 12,35	横浜市東台国民学校 16
神奈川県女子師範学校	横須賀市衣笠国民学校 8	横浜市神橋国民学校 12,35	横浜市日吉台国民学校 16
附属国民学校 2	横須賀市久里浜国民学校 8	横浜市岸谷国民学校 12,30	横浜市平沼国民学校 16,31
川崎市旭町国民学校 3	横須賀市高坂国民学校 8,29	横浜市北方国民学校 12,30	横浜市二谷国民学校 16,31
川崎市大島国民学校 3,29	横須賀市坂本国民学校 8	横浜市共進国民学校 12,30	横浜市平安国民学校 17,31
川崎市大戸国民学校 3	横須賀市沢山国民学校 9	横浜市栗田谷国民学校 12,35	横浜市平楽国民学校 17,31
川崎市大山国民学校 3	横須賀市汐入国民学校 9,29	横浜市幸ヶ谷国民学校 13,30	横浜市星川国民学校 31
川崎市小田国民学校 3,34	横須賀市諏訪国民学校 9	横浜紅蘭高等女学校	横浜市保土ヶ谷国民学校 17
川崎市川崎国民学校 3	横須賀市田浦国民学校 9	附属初等科 13,32	横浜市本町国民学校 17,32
川崎市川中島国民学校 4,29	横須賀市田戸国民学校 9	横浜市寿国民学校 13	横浜市本牧国民学校 17
川崎市幸町国民学校 4	横須賀市鶴久保国民学校 9	横浜市子安国民学校 13	横浜市蒔田国民学校 17
川崎市桜本国民学校 4	横須賀市豊島国民学校 9	横浜市斉藤分国民学校 13	横浜市間門国民学校 17,32,35
川崎市新町国民学校 4	横須賀市長浦国民学校 9	横浜市桜岡国民学校 13	横浜市三ツ沢国民学校 17
川崎市住吉国民学校 4	横須賀市船越国民学校 9,34	横浜市下野国民学校 13	横浜市南太田国民学校 17
川崎市大師国民学校 5	横須賀市山崎国民学校 10,29	横浜市白鶴国民学校 13,30	横浜市南吉田国民学校 18
川崎市高津国民学校 5	横浜市青木国民学校 10,29	横浜市末吉国民学校 14,30	横浜市峯国民学校 18,32
川崎市田島国民学校 5	横浜市芦穂崎国民学校 10	横浜市杉田国民学校 14	横浜市宮谷国民学校 18,32
川崎市玉川国民学校 5	横浜市東国民学校 29	横浜市大道国民学校 14	横浜市三吉国民学校 18
川崎市中原国民学校 5	横浜市石川国民学校 10,34	横浜市滝頭国民学校 14,30,35	横浜市六浦国民学校 18,35
川崎市日吉国民学校 6			

横浜市元街国民学校 18,32	京都市生祥国民学校 20	大阪市西船場国民学校 22,35	広島県
横浜市矢向国民学校 18	京都市龍池国民学校 20	大阪市東粉浜国民学校 23	呉市岩方国民学校 33
横浜市山元国民学校 18	京都市仁和国民学校 20	大阪市福島国民学校 23	呉市片山国民学校 26,33
横浜市横浜国民学校 18,32	京都市明倫国民学校 20	大阪市古市国民学校 23	呉市上山田国民学校 33
横浜市吉田国民学校 18,32	船井郡竹野国民学校 33	大阪市堀江国民学校 23,36	呉市荒神町国民学校 26
横浜市立聾話学校 19		大阪市堀川国民学校 24	呉市五番町国民学校 26
	大阪府	大阪市南方国民学校 24	呉市辰川国民学校 26
千葉県	大阪市芦原国民学校 35	大阪市南大江国民学校 24,33	呉市長迫国民学校 33
千葉市登戸国民学校 32	大阪市吾妻国民学校 20	大阪市南都島国民学校 24	呉市二河国民学校 33
	大阪市集英国民学校 20	大阪市御幸森国民学校 24	呉市本通国民学校 33
埼玉県	大阪市育和国民学校 20	(大阪市八幡屋北国民学校) 36	(呉市港町国民学校) 26
北埼玉郡須影国民学校 19	大阪市石田国民学校 21	大阪市淀川国民学校 24	呉市宮原国民学校 26
	大阪市泉尾東国民学校 33		呉市両城国民学校 36
愛知県	大阪市大江国民学校 21	兵庫県	広島市青崎国民学校 33
名古屋市長久国民学校 19	大阪市加賀屋国民学校 21	尼崎市立大島国民学校 24	広島市神崎国民学校 27
名古屋市長久国民学校 34	大阪市菅南国民学校 21	神戸市池田国民学校 24	広島市職町国民学校 27
名古屋市長久国民学校 19	大阪市北鶴橋国民学校 21	神戸市板宿国民学校 24	広島高等師範附属国民学校 27
名古屋市長久国民学校 19	大阪市北野国民学校 21	神戸市大開国民学校 25	広島市三篠国民学校 27
名古屋市長久国民学校 19	大阪市錦郷国民学校 21	神戸市神楽国民学校 25	
名古屋市長久国民学校 19	大阪市桑津国民学校 21	神戸市上筒井国民学校 25	福岡県
名古屋市長久国民学校 19	大阪市弘治国民学校 21	神戸市川池国民学校 25	八幡市黒崎国民学校 33
名古屋市長久国民学校 19	大阪市高津国民学校 21	神戸市須佐野国民学校 25	
名古屋市長久国民学校 32	大阪市粉浜国民学校 34	神戸市筒井国民学校 25	沖縄県
名古屋市長久国民学校 19	大阪市塩草国民学校 21	神戸市遠矢国民学校 25	沖縄師範学校附属国民学校 27
名古屋市長久国民学校 32	大阪市思斉国民学校 21	神戸市長田国民学校 25	那覇市安里国民学校 27
名古屋市長久国民学校 19	大阪市城東国民学校 21	神戸市西郷国民学校 25	東風平村東風平国民学校 27
名古屋市長久国民学校 19	大阪市精華国民学校 21,35	神戸市西須磨国民学校 25	平良市立平良第二国民学校 27
奈良県	大阪市聖賢国民学校 22,35	神戸市浜山国民学校 25	玉城村玉城国民学校 27
奈良市第六国民学校 32	大阪市大成国民学校 22	神戸市摩耶国民学校 25	豊見城村豊見城第一国民学校 27
	大阪市大宝国民学校 22	神戸市水木国民学校 36	豊見城村豊見城第二国民学校 27
京都府	大阪市高倉国民学校 22	神戸市湊川国民学校 25	中城村中城国民学校 27
京都市桂国民学校 19	大阪市玉造国民学校 33	神戸市六甲国民学校 25	那覇市上山国民学校 28
京都師範学校女子部	大阪市玉出国民学校 34	神戸市若宮国民学校 26	那覇市垣花国民学校 28
附属国民学校 20	大阪市玉出第一国民学校 34	西宮市今津国民学校 26	那覇市甲辰国民学校 28
京都市第二錦林国民学校 20	大阪市千船国民学校 22	西宮市建石国民学校 26	那覇市天妃国民学校 28
京都市第四錦林国民学校 20	大阪市傳法国民学校 22	武庫郡魚崎国民学校 26,33	那覇市泊国民学校 28
京都市七条第一国民学校 20	大阪市堂島国民学校 22	武庫郡鳴尾北国民学校 26	那覇市那覇国民学校 28
(京都市植柳国民学校) 20	大阪市中大江国民学校 22	多紀郡大山国民学校 33	本部町本部国民学校 28
京都市新洞国民学校 20	大阪市中津国民学校 22		与那原国民学校 28
京都市朱雀第二国民学校 20	大阪市中道国民学校 22		

著者プロフィール

佐藤綾子(さとう・あやこ) 昭和47年長野県生まれ。
専修大学文学部国文学科卒業。現在、昭和館図書情報部図書情報課図書係長